Panasonic®

取扱説明書

工事説明付き

システムコントローラー

品番 **DG-CU950,WV-CU650**

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（7～8ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。** お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

本機は、PS・Data(Panasonic Security・Data)モードおよびターミナルモード対応のシステムコントローラーです。

・ハードディスクレコーダーなどの記録機器を操作できます。また、これらの機器に接続されているカメラを操作することもできます。

・PS・Dataモードでは、本機1台でPS・Dataモード対応システム機器を複数台操作できます。また、本機は1システムに最大4台まで接続して、複数地点から操作できます。カメラ制御、映像切換、検索再生、という監視システムに必須の機能のコントロールを今までにない使いやすさで実現します。

・優れたカメラ操作性

本体分離型3Dジョイスティックを搭載。ジョイスティックの握り部分でズーム操作ができるので、回転台やコンビネーションカメラを片手で簡単に操作できます。

・優れたレコーダー操作性

ジョグダイヤル/シャトルリングを搭載。記録映像の操作が快適に行えます。

・柔軟なカスタマイズ性

PS・Dataモードでは、ファンクションボタンに使用頻度の高い機能を自由に割り当てることが可能です。画面登録はディスプレイを見ながら簡単に行うことができます。

・ID、パスワードによる認証機能

各IDに対して操作権（ユーザーレベル）を設定できます。また、パスワードによって不正操作を防止します。

DG-CU950はEthernetモードにも対応しています。

・Ethernetモードでは、DG-ASM100シリーズがインストールされたPCと接続することで、本機からDG-ASM100シリーズをコントロールし、カメラを操作することができます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）…………………………………… 1冊
保証書 …………………………………………………… 1枚

以下の付属品は取り付け工事に使用します。
ACアダプター………………………………………… 1個
モジュラーケーブル（6極6心、3 m）…………… 1本

免責について

・この商品は、弊社のシステム機器およびこれらの機器に接続された監視カメラを操作するシステムコントローラーです。この商品単独で、監視システムを構成するものではありません。
・弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
② お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など。
③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。

④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、ご所望の映像が表示できないことで被る不便・損害・被害。
⑤ 本商品に対応しない機器または第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

ネットワークに関するお願い

本商品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。
①本商品を経由した情報の漏えいや流出
②悪意を持った第三者による本商品の不正操作
③悪意を持った第三者による本商品の妨害や停止
このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本商品を使用する。
- コンピューターが接続されているシステムで本商品を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、パスワード認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。

動作モードについて

本機には以下の動作モードがあります。
・ PS・Dataモード
・ ターミナルモード
・ Ethernetモード（DG-CU950のみ）
これらのモードでは、操作手順やディスプレイ表示などが異なります。

本書では、PS・Dataモード専用の説明項目に PS・Data というマークを表示しています。
ターミナルモードおよびEthernetモードでお使いになる場合は、このマーク以外の項目と、接続するシステム機器の取扱説明書をお読みください。

もくじ

ご使用前に

準　備

操　作

PS・Data

操　作

PS・Data

ご使用前に
準備
操作
管理者の設定
その他

操　作

PS・Data

管理者の設定

その他

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

機器の上に水などの入った容器を置かない

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない

落下によるけがの原因になります。

⚠警告

電源コード・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやACアダプターの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだACアダプター、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

ACアダプターのほこり等は定期的にとる

ACアダプターにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠注意

指定以外の装置を接続しない

禁止

けがなどの原因になることがあります。

振動や強い衝撃を与えない

禁止

火災や感電、故障の原因になります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

禁止

火災や感電、故障の原因になります。

操作上のお願い

⚠警告、⚠注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

●付属のACアダプター以外の電源は使用しないでください。

故障や感電の原因となります。

●直射日光の当たる場所での使用は避けてください。

高温下での使用は避けてください。

●ていねいにお取り扱いください。

落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。

●使用温度範囲をお守りください。

－10 ℃以下の寒いところや、＋50 ℃以上の暑いところで使用しないでください。

●厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。

●結露について

故障の原因となりますので結露に注意してください。
結露が発生しやすい条件は

- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

このような場合は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

●お手入れについて

ACアダプターを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、台所用洗剤（中性）を水で薄め、柔らかい布にしみ込ませ、固く絞り、軽くふいてください。その後、柔らかい布で洗剤成分をふきとってください。
ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと、変質したり塗料がはげることがありますので避けてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

●表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をお読みください。

各部の名前と働き

＜前面＞

※㉕〜㊹の説明は、12ページをご覧ください。

ご注意：接続するシステム機器により、使用できる機能は異なります。

① アラーム選択／アラーム抑止 ：**アラーム選択／アラーム抑止ボタン**
（SHIFT を押しているとき）アラームの入力を一時的に抑止したいときに使います。

② アラーム確認 ：**アラーム確認ボタン**
アラームを確認し、カメラ映像操作をアラーム連動状態から手動に切り換えたいときに使います。

③ アラーム復帰／アラームオールリセット ：**アラーム復帰／アラームオールリセットボタン**
アラームを解除するときに使います。

④ 画面表示 ：**画面表示ボタン**
画面上の文字表示あり/なしを切り換えるときに使います。

⑤ アラームリコール ：**アラームリコールボタン**
過去に入力されたアラームの履歴を確認するときに使います。

⑥ カメラ機能／システム機能 ：**カメラ機能／システム機能ボタン**
カメラの機能を番号で呼び出すときに使います。
（SHIFT を押しているとき）システム機器の機能を番号で呼び出すときに使います。

⑦ シーケンス一時停止／シーケンス停止 ：**シーケンス一時停止／シーケンス停止ボタン**
シーケンス動作を一時停止するときに使います。
（SHIFT を押しているとき）シーケンス動作を停止するときに使います。

⑧ ツアーシーケンス／グループシーケンス ：**ツアーシーケンス／グループシーケンスボタン**
シーケンス機能を実行するときに使います。

⑨ モニターロック/ログアウト ：**モニターロック／ログアウトボタン**
（SHIFT を押しているとき）コントローラーからログアウトするときに使います。

⑩ 多画面分割選択 ：**多画面分割選択ボタン**
画面分割して1台のモニターに複数のカメラ映像を同時に表示するときに使います。

⑪ 電子ズーム ：**電子ズームボタン**
選択しているモニターの画像を拡大するときに使います。

⑫ 最新映像 ：**最新映像ボタン**
最新の再生画像を表示するときに使用します。

⑬ 外部制御1入/切 ：**外部制御1入／切ボタン**
外部機器1をONするときに使います。
（SHIFT を押しているとき）外部機器1をOFFするときに使います。

⑭ 外部制御2入/切 ：**外部制御2入／切ボタン**
外部機器2をONするときに使います。
（SHIFT を押しているとき）外部機器2をOFFするときに使います。

⑮ マーク ：**マークボタン**
記録映像で再生開始位置を記憶させるときに使います。

⑯ ワイパー ：**ワイパーボタン**
カメラハウジングのワイパーをONするときに使います。

⑰ デフロスター/切 ：**デフロスター／切ボタン**
カメラハウジングのデフロスターをONするときに使います。
（SHIFT を押しているとき）カメラハウジングのデフロスターをOFFするときに使います。

⑱ サーチ/時間サーチ ：**サーチ／時間サーチボタン**
記録機器の検索機能を呼び出すときに使います。
（SHIFT を押しているとき）ディスプレイ上で日時を入力して検索再生するときに使います。

⑲ **ディスプレイ**
選択中のユニット(品番)、モニター番号、カメラ番号を表示します。また、ファンクションボタンの機能を表示します。

⑳ 調整 ：**調整ボタン**
ディスプレイの明るさやコントラスト、アラーム音、キー入力時のブザー音を調整・設定するときに使います。

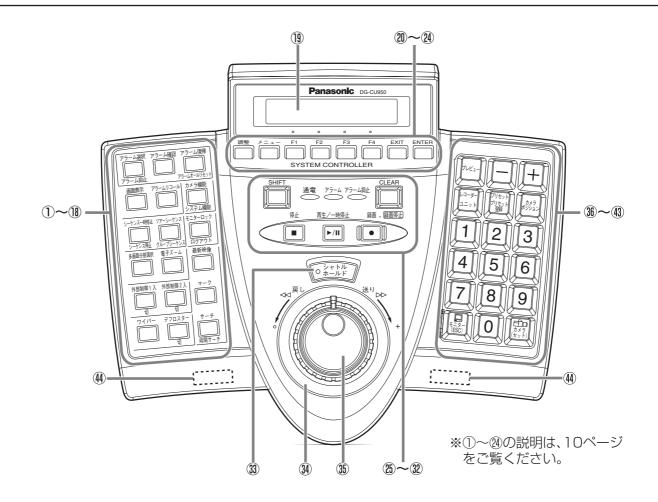
㉑ メニュー ：**メニューボタン**
メニュー機能一覧を表示するときに使います。

㉒ F1 ～ F4 ：**ファンクション（F1～F4）ボタン**
あらかじめ割り当てた機能を呼び出すときに使います。

㉓ EXIT ：**EXITボタン**
ENTERボタンで機能選択した画面からもとの画面に戻るときに使います。

㉔ ENTER ：**ENTERボタン**
メニュー機能を表示中に、選択項目を決定するときに使います。

※ （アミ掛け）の機能は、2007年7月現在対応するシステム機器はありません。

※①～㉔の説明は、10ページをご覧ください。

㉕ SHIFT ：**SHIFTボタン**
ボタンの機能を切り換えるときに使います。

㉖ 通電 ：**通電LED**
電源が入っているときに点灯します。

㉗ アラーム ：**アラームLED**
アラームが発生したときに点滅します。アラームが自動的に解除されると点灯に変わります。

㉘ アラーム抑止 ：**アラーム抑止LED**
アラームを抑止しているときに点灯します。

㉙ CLEAR ：**CLEARボタン**
テンキーで入力した値を取り消すときに使います。

㉚ 停止 ■ ：**停止ボタン**
記録機器の再生を停止するときに使います。

㉛ 再生／一時停止 ►/II ：**再生／一時停止ボタン**
記録機器の再生や一時停止をするときに使います。

㉜ 録画 ● ：**録画ボタン**
記録機器の録画を開始するときに使います。また、2秒間押し続けると録画を停止します。

㉝ シャトルホールド ：**シャトルホールドボタン**
早送りや早戻し再生を継続して行う場合にこのボタンを押すと、シャトルリングから手を離しても早送り/早戻し再生が継続されます。この時、ボタンのLEDが点滅します。

㉞ ：**シャトルリング**
記録機器の早送りや早戻し再生を行います。また、セットアップ中はページの切り換えなどを行います。

㉟ ：**ジョグダイヤル**
記録機器の再生一時停止中にコマ送りやコマ戻し、再生中にレコードのスキップを行います。また、セットアップ中は設定値の増減などを行います。

㊱ プレビュー ：**プレビューボタン**
ボタンを押しながら、＋または－ボタンを押すと、過去に選択したカメラを順番に表示することができます。

㊲ － ＋ ：**－／＋ボタン**
カメラ番号を増減させて映像を切り替えるときに使います。セットアップ中は、設定値を変更するときに使います。

㊳ レコーダー ユニット ：**レコーダー／ユニット**
システム機器を選択するときに使います。
（SHIFT を押しているとき）記録機器を選択するときに使います。

㊴ プリセット プリセット登録 ：**プリセット／プリセット登録ボタン**
コンビネーションカメラのプリセットポジションやホームポジションを呼び出すときに使います。
（SHIFT を押しているとき）プリセットポジションを登録することができます。

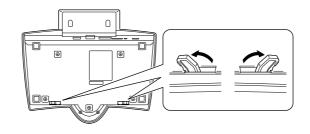
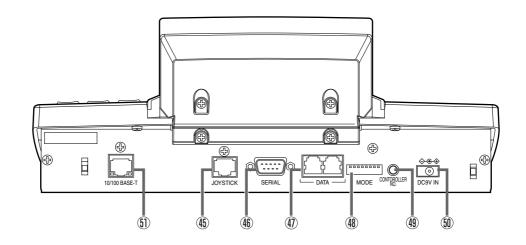
㊵ カメラポジション ：**カメラポジションボタン**
カメラ番号とプリセットポジションの組み合わせをダイレクトに選択するときに使います。

㊶ 0 ～ 9 ：**テンキー**
カメラ番号、モニター番号、ユニットアドレスなど、数字を入力するときに使います。

㊷ モニター（ESC） ：**モニター（ESC）ボタン**
モニターを選択するときに使います。セットアップ中は、設定内容を確定して上層に戻るときに使います。

㊸ カメラ（セット） ：**カメラ（セット）ボタン**
カメラを選択するときに使います。セットアップ中は、設定項目を選択して下層に入るときに使います。

㊹ **スタンド**
スタンドを立てることにより前側の高さを1 cm程度高くすることができます。

＜後面＞

㊺ **ジョイスティック部接続端子**
ジョイスティック部を接続するための端子です。

㊻ **シリアル端子**
テスト用端子です。

㊼ **データ端子**
本機とシステム機器を接続するときに使います。本機を増設するときにも使います。

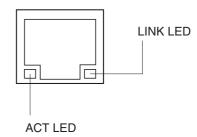
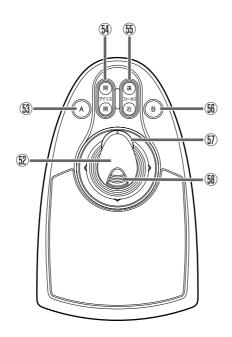
㊽ **モード設定スイッチ**
本機の動作モードを変更するときに使います。

㊾ **コントローラー番号設定スイッチ**
コントローラーを複数台使用するときに設定します。通常はお買い上げ時の状態「1」のままお使いください。

㊿ **電源入力端子**
付属のACアダプターを接続します。

(51) **10/100 Base-T端子（DG-CU950）**
DG-ASM100シリーズがインストールされたPCと本機を接続するときに使います。

LINK LED
ネットワークでリンクが確立しているとき、点灯します。

ACT LED
データの送受信中に点灯します。

<ジョイスティック部>

52 ：**ジョイスティック**
コンビネーションカメラや回転台をパン・チルトするときに使います。

53 Ⓐ ：**Aボタン**
あらかじめ割り当てた機能を呼び出すときに使います。

54 開アイリス 、アイリス閉 ：**アイリスボタン**
カメラの絞りを調節するときに使います。

55 遠フォーカス 、フォーカス近 ：**フォーカスボタン**
カメラのピントを調節するときに使います。

56 Ⓑ ：**Bボタン**
あらかじめ割り当てた機能を呼び出すときに使います。

57 ：**ズームボリューム**
カメラのズームを調節するときに使います。

58 ：**トップボタン**
あらかじめ割り当てた機能を呼び出すときに使います。

ファンクションボタンについて PS・Data

以下のボタンには、好みの機能を設定して使用することができます。

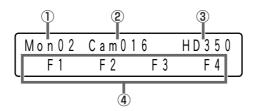
22 F1 ～ F4 、53 Ⓐ 、56 Ⓑ 、58

各ボタンへの機能の登録については、「ファンクションボタンに機能を登録する」（67ページ）をご覧ください。

ご使用前に

ディスプレイの見方 PS・Data

主なディスプレイの説明を以下に示します。

＜通常画面＞

① **モニター番号**
選択しているモニターのモニター番号を表示します。

② **カメラ番号**
選択しているカメラのカメラ番号を表示します。
カメラポジションを実行した場合はカメラポジション番号が表示されます。（48ページ）
選択しているモニターがシーケンス動作をしているときは「Seq」と表示されます。（42ページ）

③ **システム機器品番**
選択しているシステム機器の品番が表示されます。（例えばWJ-HD500の場合は「HD500」、WJ-HD350の場合は「HD350」と表示され、最大6文字まで表示されます。）
品番表示中に [レコーダー/ユニット] ボタンを押している間は、ユニットアドレスが表示されます。
数字ボタンの入力があった場合、この部分に入力した数字が表示されます。
※PS·Dataモード対応モニターWV-CM2080、WV-CM1780、WV-CM1480を選択した場合、ディスプレイに表示されるユニット名はいずれも「CM2080」となります。

④ **ファンクション機能タイトル**
ファンクションボタンを示すタイトルが表示されます。 [SHIFT] を押すと、「F5」～「F8」用のタイトルに切り換わります。
このタイトルは編集することができます。詳しくは「ディスプレイ表示タイトルの編集」（98ページ）をご覧ください。

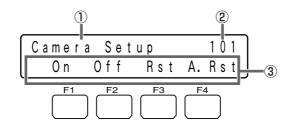
＜メニュー機能選択画面＞

① **カテゴリー名**
選択しているメニュー機能のカテゴリー名が表示されます。

② **メニュー機能番号**
選択しているメニューの機能番号が表示されます。

③ **メニュー機能名称**
選択しているメニュー機能名称が表示されます。

※詳しくは、「メニュー機能一覧」（60ページ）をご覧ください。

＜メニュー機能実行画面＞

① **メニュー機能名称**
実行しているメニュー機能名称が表示されます。

② **メニュー機能番号**
メニュー機能を実行している場合、メニューの機能番号が表示されます。

③ **ファンクションボタン操作メニュー**
実行している機能内で、ファンクションボタンを使って操作できるメニューが表示されます。
SHIFT を押すことで、「F5」～「F8」の操作メニューが表示される機能もあります。
ファンクションボタンを使う操作がない場合、表示はありません。

＜ディスプレイ表示の特記事項＞

●「Invalid」表示について

以下の時に、ディスプレイに「Invalid」というエラーメッセージが点滅表示されます。「Invalid」表示は数秒後に自動的に消えます。
・ユーザーIDまたはパスワードを間違って入力した時など
・カメラ番号やメニュー機能番号、その他の入力番号であり得ない番号を入力した時など

Mon02 Cam016 HD350
Invalid

表示例

●「Busy」表示について

選択しているシステム機器のプライオリティ機能などにより、選択中のカメラもしくはモニターが操作不可（ビジー状態）になった場合、ディスプレイに「Busy」が点滅表示されます。この時、モニター選択に対するビジーであればモニター番号が、カメラ選択に対するビジーであればカメラ番号が、「Busy」とともに点滅表示します。
「Busy」表示は、システム機器側でビジー状態が解除されると自動的に消えます。本機の操作でビジー状態を解除する場合は、モニタービジー状態であれば他のモニターを、カメラビジー状態であれば他のカメラを選択してください。

Mon02 Cam016 HD350
Busy

モニタービジーの表示例

Mon02 Cam016 HD350
Busy

カメラビジーの表示例

●「Prohibited」表示について

本機のユーザー管理機能（ファンクションレベル、カメラレベル）で制限された操作を行った場合、もしくは選択中のシステム機器によって禁止された機能を操作した場合に、ディスプレイに「Prohibited」が点滅表示されます。「Prohibited」表示は数秒後に自動的に消え、ディスプレイは通常画面に戻ります。

Mon02 Cam016 HD350
Prohibited

表示例

●点滅表示について

ディスプレイの表示において、　　　　　　が付いている表示は点滅していることを意味します。

表示例

操作手順の表記について

本装置には、数々のボタン類と回転操作によるジョグダイヤルやシャトルリング、ジョイスティックなどの操作があります。
操作手順には、これらのボタン等をアイコン（イラスト）で示しています。
以下に、操作手順等で出てくる各アイコンの説明をします。

（1）ジョグダイヤル／シャトルリング

本体イラスト	本書での表記	操作説明
ジョグダイヤル シャトルリング		シャトルリングを左右どちらかの方向に回します
		シャトルリングを左方向（反時計方向）に回します
		シャトルリングを右（時計方向）に回します
		ジョグダイヤルを左右どちらかの方向に回します
		ジョグダイヤルを左方向（反時計方向）に回します
		ジョグダイヤルを右（時計方向）に回します

(2) ジョイスティック

本体イラスト	本書での表記	操作説明
ズームボリューム トップボタン ジョイスティック		ジョイスティックを上下左右どちらかの方向に倒します
		ジョイスティックを上下どちらかの方向に倒します
		ジョイスティックを左右どちらかの方向に倒します
		ジョイスティックを左の方向に倒します
		ジョイスティックを右の方向に倒します
		ジョイスティックのトップボタンを押します
		ズームボリュームを左右どちらかの方向に回します
		ズームボリュームを左（反時計方向）に回します
		ズームボリュームを右（時計方向）に回します

(3) ボタン／LEDについて

個々のボタンやLEDについては、それぞれのボタン／LED形状をアイコンにしています。

例：画面表示、SHIFT、3、アラーム抑止 LEDなど

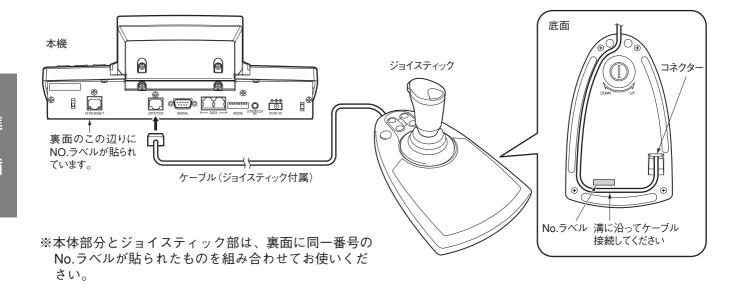
なお、SHIFT（シフトボタン）を押すことにより機能が切り換わるボタンについては、両方の機能表示を記載しています。SHIFTと同時に押したときの操作説明では、下側の機能表記を押したことになります。

例：カメラ機能 システム機能、レコーダー ユニット など

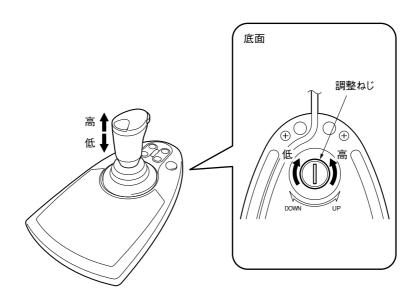
操作を始める前に

ジョイスティックの接続

ジョイスティックの接続方法は、下図のように接続してください。
※システムの接続に関しては「工事説明　システム接続例」（126〜128ページ）をご覧ください。

※本体部分とジョイスティック部は、裏面に同一番号のNo.ラベルが貼られたものを組み合わせてお使いください。

ジョイスティックの高さ調整

ジョイスティックのグリップの高さを調整することができます。
下図のように、底面の調整ねじを回して高さを調整します。

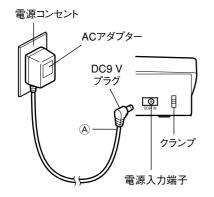
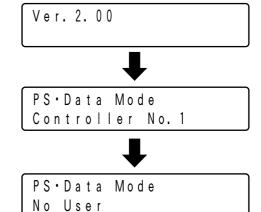
準備

電源の入れかた

本機の電源の入れかたを説明します。

操作手順

1. 付属のACアダプターを電源コンセント（AC100 V）に差し込み、DC9 Vプラグを後面の電源入力端子に接続します

電源が入ると 通電 LEDが点灯し、ディスプレイにはソフトウェアバージョン、コントローラー番号、ログイン待ち画面の順に表示されます。

※DC9 VプラグのⒶの部分はクランプに差し込んで固定してください。

[PS・Dataモードの場合の表示例]

電源の切りかた

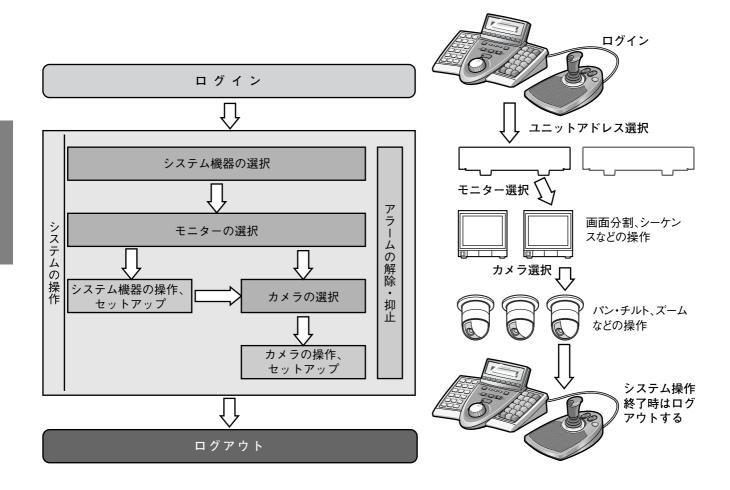
本機の電源の切りかたを説明します。

操作手順

1. ログアウト操作を行ってから、ACアダプターを電源コンセントから抜きます

電源が切れると、 通電 LEDが消灯します。

※長時間使用しないときは、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。
本機背面の電源入力端子からDC9 Vプラグを抜いても、電源コンセントにACアダプターが接続されているとACアダプターで電気を消費します。

基本的な操作の流れ　PS・Data

ログインする　PS・Data

操作を始めるには、IDとパスワードによるユーザー認証を行い、ログインする必要があります。
ID、パスワードの設定のしかたは、「オペレーターの登録・変更」（87ページ）をご覧ください。
※パスワードを忘れた場合は、管理者モードでパスワードを確認することができます。詳しくは、「オペレーターのパスワードを確認する」（123ページ）をご覧ください。

※初期設定で登録されているオペレーター情報は以下のとおりです。

オペレーター番号	ユーザーID	パスワード	ファンクションレベル	カメラレベル
1	650	650	1	1
2	1	12345	1	1
3	100	100	2	1
4	101	101	3	1
5	102	102	3	1
6	103	103	3	1

準備

操作手順

1. 電源を入れ、ログイン待ち画面を表示します（21ページ）

```
PS・Data Mode
No User
```

2. ユーザーIDをテンキーを使って入力します

入力したユーザーIDがディスプレイに表示されます。
CLEAR を押すと、入力した数字が削除されます。

※ カメラセット を押してから、ユーザーIDを入力することもできます。
※手順2～5で5秒以上操作をしないと、ログイン待ち画面に戻ります。

```
User ID              __650
```

3. カメラセット を押します

パスワードの入力画面が表示されます。

```
User ID                650
Password             _____
```

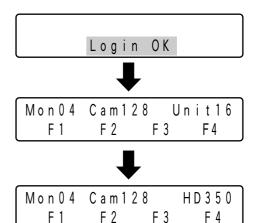
4. パスワードをテンキーを使って入力します

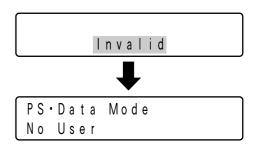
入力したパスワードは「＊」で表示されます。
CLEAR を押すと、入力した数字が削除されます。

```
User ID                650
Password             __***
```

5. カメラセット を押します

ログイン成功のメッセージが表示され、ログイン状態になります。
ログイン状態になると、自動的にシステム機器側の最もアドレスが小さいユニットに接続され、機器の品番が表示されます。

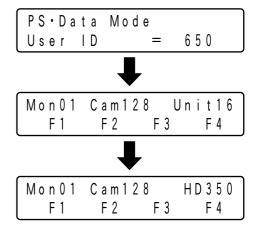
※ユニット選択した状態でログアウトし、電源を切らずに再び同じユーザーIDでログインすると、前回接続したユニットに自動的に接続されます。

※誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示され、ログイン待ち状態に戻ります。

準備

オートログイン PS・Data

オートログイン設定にした場合、電源を入れたときの表示は以下のようになります。
オートログイン設定のしかたは、「オートログイン／オートログアウトの設定」（85ページ）をご覧ください。

1. **電源を入れると、ディスプレイに「Auto Login」と表示されます**

2. **ログインするオペレーターのユーザーIDが表示され、ログイン状態になります**

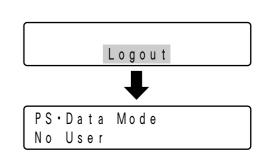
ログイン状態になると、自動的にシステム機器側の最も番号が小さいユニットに接続され、機器の品番が表示されます。

ログアウト PS・Data

操作を終了して電源を切るとき、またはオペレーターを変更するときにログアウトする必要があります。

操作手順

1. **ログイン状態のときに SHIFT ＋ モニターロック/ログアウト を押します**

ログアウトのメッセージが表示され、ログイン待ち画面に移ります。

※ログアウト後も電源が接続されている場合、アラーム表示やアラーム抑止表示は現在のシステム状態を表示し続けます。ログアウト後に新たにアラームが発生すると、アラーム表示が点滅（自動復帰時は点灯）します。

ディスプレイ／ブザーの調整

ディスプレイの輝度とコントラスト調整、およびアラーム音、キー入力時のブザー音の設定手順を以下に示します。

操作手順

LCD Bright 14

1. [調整] を押して、変更したい設定項目を選択します

[調整] を押すごとに、輝度調整、コントラスト調整、アラーム音設定、キー入力時のブザー音設定、通常画面の順に切り換わります。

※調整画面で5秒間操作をしないと通常画面に戻ります。

2. 設定を変更する

設定を変更する操作は項目によって異なります。操作方法は「輝度調整」～「キー操作音の設定」の各項目をご覧ください。

3. [EXIT] または [モニター(ESC)] を押します

通常画面に戻ります。

輝度調整

ディスプレイの明るさを調整します。

操作手順

1. 上記の手順で「LCD Bright」を選択します

現在の輝度を表す数値と、ボリュームが表示されます。

※初期設定では輝度は14に設定されています。

2. で輝度を調整します

で数値が大きくなるほど明るく、で数値が小さくなるほど暗くなります。
輝度の設定範囲は1～20です。

コントラスト調整

ディスプレイのコントラストを調整します。

操作手順

1. **上記の手順で「LCD Contrast」を選択します**

現在のコントラストを表す数値と、ボリュームが表示されます。

```
LCD Contrast        9
██████████
```

※初期設定ではコントラストは9に設定されています。

2. **でコントラストを調整します**

で数値が大きくなるほど薄く、 で数値が小さくなるほど濃くなります。
コントラストの設定範囲は1～20です。

```
LCD Contrast        8
█████████
```


アラーム音の設定

アラーム発生時にアラーム音が鳴る時間を変更します。

操作手順

1. **上記の手順で「Buzzer Alarm」を選択します**

現在のアラーム音設定が表示されます。

```
Buzzer Alarm       2s
```

※初期設定では2秒に設定されています。

2. **でアラーム音が鳴る時間を調整します**

で数値が大きく、 で数値が小さくなります。
アラーム音の設定範囲はOff、1 s～30 s、40 s、50 s、60 sです。

```
Buzzer Alarm      20s
```

キー操作音の設定

キー操作時の操作音、および「Invalid」、「Prohibited」、「Table1 Fixed」表示などのエラーメッセージが表示されたときにエラー音を鳴らすかを設定します。

操作手順

1. **上記の手順で「Buzzer Operation」を選択します**

現在のキー操作音の設定が表示されます。

```
Buzzer Operation   On
```

※初期設定ではOnに設定されています。

2. **でキー操作音のOn／Offを変更します**

```
Buzzer Operation  Off
```

操作する機器を選択する PS・Data

システムを操作するには、操作したい機器を最初に選択する必要があります。ここでは選択のしかたについて説明します。

システム機器を選択する

操作手順

1. 操作したいシステム機器のユニットアドレスをテンキーで入力します

Mon02 Cam128 ____2
F1 F2 F3 F4

入力したアドレスがディスプレイに表示されます。

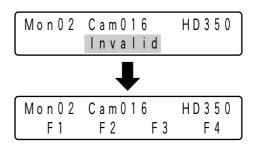
※ユニットアドレスは、事前にシステム機器側で設定しておく必要があります。
※ユニットアドレスの入力は1～99まで有効となります。

2. SHIFT ＋ レコーダー/ユニット を押します

選択したシステム機器名がディスプレイに表示され、システム機器を操作できる状態になります。

※初期設定では レコーダー/ユニット のみでシステム機器を選択できます。詳しくは、「レコーダー番号とユニットアドレスの関連付け」（97ページ）をご覧ください。

※誤ったユニットアドレス（1～99以外）を選択した場合は、右の画面が表示され、選択前の表示に戻ります。
システム機器のユニットアドレスを確認して、再度操作してください。

操作

レコーダーを選択する

操作手順

1. 操作したいレコーダー番号をテンキーで入力します

```
Mon02 Cam128    ____2
  F1   F2   F3   F4
```

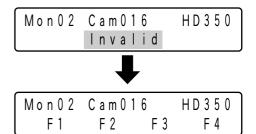
入力した番号がディスプレイに表示されます。

※初期設定では、レコーダー番号1～16とユニットアドレス1～16が関連付けて登録されています。詳しくは、「レコーダー番号とユニットアドレスの関連付け」（97ページ）をご覧ください。

2. [レコーダー ユニット] を押します

選択したレコーダー名がディスプレイに表示され、レコーダーを操作できる状態になります。

※誤ったレコーダー番号（1～16以外）を選択した場合は、右の画面が表示され、選択前の表示に戻ります。
レコーダー番号を確認して、再度操作してください。

操作

モニターを選択する

システム機器に複数のモニターがある場合、操作するモニターを選択できます。
※ディスプレイのモニター表示が「－ －」の場合は、システム機器がモニター選択に対応していないため、この操作はできません。

操作手順

1. 操作したいモニターが接続されているシステム機器を選択します（27ページ）

（27ページ）

```
Mon01 Cam016   HD350
  F1    F2    F3    F4
```

2. 操作したいモニターの番号をテンキーで入力します

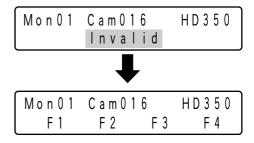
入力した番号がディスプレイに表示されます。
（モニター番号は、システム機器側によって選択する番号が異なります。詳細は、接続するシステム機器の取扱説明書をご覧ください。）

```
Mon01 Cam016   ____2
  F1    F2    F3    F4
```

3. [モニター(ESC)] を押します

モニターが選択され、操作できる状態になります。

```
Mon02 Cam016   HD350
  F1    F2    F3    F4
```

※誤ったモニター番号（1～99以外）を選択した場合は、右の画面が表示され、選択前の表示に戻ります。
モニター番号を確認して、再度操作してください。

カメラを選択する

システム機器に複数のカメラがある場合、操作するカメラを選択できます。映像を表示するカメラを切り換えたいときもこの操作を行います。

操作手順

1. 操作したいカメラが接続されているシステム機器とモニターを選択します（27、29ページ）

```
Mon01 Cam001    HD350
  F1    F2    F3    F4
```

※カメラ番号とユニットアドレスを関連付けることにより、システム機器を選択する操作を省略することができます。初期設定では、カメラ番号1〜64とユニットアドレス1〜4が関連付けされています。詳しくは、「カメラ番号とユニットアドレスの関連付け」（95ページ）をご覧ください。

2. 操作したいカメラの番号をテンキーで入力します

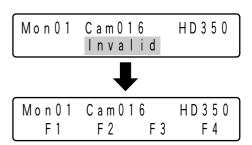
```
Mon01 Cam001   ____16
  F1    F2    F3    F4
```

入力した番号がディスプレイに表示されます。
（カメラ番号は、システム機器側によって選択する番号が異なります。詳細は、接続するシステム機器の取扱説明書をご覧ください。）

3. カメラ（セット） を押します

```
Mon01 Cam016    HD350
  F1    F2    F3    F4
```

カメラが選択され、操作できる状態になります。モニターに、選択したカメラの映像が表示されます。

※誤ったカメラ番号（1〜999以外）を選択した場合は、右の画面が表示され、選択前の表示に戻ります。
カメラ番号を確認して、再度操作してください。

レコーダーを操作する PS・Data

本機を使って、PS・Dataモード対応レコーダーを操作することができます。レコーダーの操作は、レコーダーを選択した状態で行います。

デジタルディスクレコーダーの操作は、機種によって異なる場合があります。
本書では、以下のように機種を分類して説明しています。

・HD300シリーズ
製品品番がWJ-HD316で始まる機種(WJ-HD316、WJ-HD316Aなど)およびWJ-HD350で始まる機種(WJ-HD350、WJ-HD350-Wなど)を総称した呼び名として使用しています。

・HD500シリーズ
製品品番がWJ-HD500で始まる機種(WJ-HD500、WJ-HD500Bなど)を総称した呼び名として使用しています。

・HD200シリーズ
製品品番がWJ-HD200で始まる機種(WJ-HD200など)およびWJ-HD220で始まる機種(WJ-HD220など)を総称した呼び名として使用しています。

・HD100シリーズ
製品品番がWJ-HD100で始まる機種(WJ-HD100、WJ-HD100Aなど)を総称した呼び名として使用しています。

操作

録画する（マニュアル録画）

操作手順

1. [録画] を押します

録画が開始されます。

※録画モードや録画時間については、お使いのレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

（録画表示例：HD300シリーズの場合）

録画ボタンのランプ点灯

＜録画を停止するときは＞

操作手順

1. [録画] を約2秒間押し続けます

録画が停止します。

再生する

操作手順

1. 再生するレコーダーを選択します（28ページ）

```
Mon02 Cam002    HD350
  F1    F2    F3    F4
```

2. 再生したいカメラを選択します（30ページ）

```
Mon02 Cam016    HD350
  F1    F2    F3    F4
```

3. 再生／一時停止 [▶/II] を押します

再生が開始されます。

※再生開始位置はレコーダーの機種により異なります。詳しくは、お使いのレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

<再生中の便利な機能>

機能名	操作	内　容
一時停止	再生／一時停止 [▶/II]	・再生を一時停止します。 ・一時停止中に押すと、再生を再開します。
コマ送り／コマ戻し		・一時停止中に、1コマずつ再生を行います。 ・右方向（時計回し）に回すと次のコマを、左方向（反時計回し）に回すと前のコマを再生します。
早送り／早戻し		・再生中に、回した角度に応じて再生速度が変化します。 ・右方向（時計回し）に回すと早送り、左方向（反時計回し）に回すと早戻りになります。 （※再生速度はレコーダーの機種によって異なります。）
ホールド再生 （早送り／早戻し）	＋ シャトル ホールド	・再生中に を回した状態で シャトル ホールド を押すと、回した角度の再生速度を保持します。（ を離しても、回したときの再生速度で再生を続けます。）このとき、シャトル ホールド のLEDが点滅します。 もう一度 シャトル ホールド を押すと、通常再生に戻ります。 ※HD300シリーズの本体操作によるホールド再生とは、動作が異なります。そのため本機の操作でホールド再生を行った場合は、ホールド再生中に「多画面分割選択」、「電子ズーム」、「画面表示」などの操作はできません。

操作

機能名	操作	内　容
レコードスキップ（※HD300、HD500シリーズのみ）		・再生中に、次のレコード、または前のレコードにスキップして再生します。 ・右方向（時計回し）に回すと録画時間の新しい映像の再生にスキップし、左方向（反時計回し）に回すと録画時刻の古い映像の再生にスキップします。 ・スキップ先がない場合は、そのまま再生を続けます。
最新映像へスキップ（※HD300シリーズのみ）	最新映像	・現在表示している映像（再生、ライブ）の最新録画時刻へスキップし、再生を行います。 （※詳細は、HD300シリーズの取扱説明書をご覧ください。）
多画面再生	多画面分割選択	・分割画面で再生映像を表示します。画面分割数は多画面分割選択ボタンを押すたびに切り換わります。 （※画面分割数の切り換えパターンはレコーダーの機種によって異なります。）
マーキング（※HD300シリーズのみ）	マーク	・再生中に、再生位置を記憶します。 ・マーキングサーチ機能を使って、マーキングした位置から再生することができます。 （※詳細は、HD300シリーズの取扱説明書をご覧ください。）

（再生中のその他の機能）
「画面表示文字の操作」（43ページ）
「ディスク選択」（77ページ）
「A－Bリピート再生」（78ページ）

＜再生を停止するときは＞

操作手順

1. 停止 ■ を押します

再生が停止します。

操作

レコーダーの検索機能を使って再生する

レコーダーには、時刻検索や録画イベント情報を使って録画データを検索できる機能があります。本機からこの検索機能を操作することができます。HD300シリーズをお使いになる場合は、HD300側のバージョンが1.20以降でないと操作できません。

操作手順

1. サーチ（時間サーチ）を押します

モニターに検索画面が表示され、ディスプレイはサーチモード表示になります。
サーチ（時間サーチ）を押すたびに、モニターの検索画面表示が切り換わります。

```
Search Mode     HD300
Thumb       Text Copy
```

（例：HD300シリーズ）

※モニターに表示される検索画面は、レコーダーの機種により異なります。詳しくは、お使いのレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

2. モニターの検索画面に従って検索します

※各レコーダーに共通する操作方法は、以下のとおりです。

操作	内　容
ジョイスティック（上下左右） （シャトル）	カーソルを移動します。 （シャトル はHD300シリーズの日時検索表示中、HD500シリーズの検索条件中、HD200シリーズで使います。）
シャトル ジョイスティック（回転）	検索画面やサムネール画面のページを切り換えます。
ジョグ + 、−	選択項目の設定値を変更します。
テンキー	数字の選択などを行います。（HD300、HD500、HD200、HD100シリーズではご使用になれません。）
カメラ（セット） ジョイスティック（押す）	選択項目を決定するときに使います。 （HD300シリーズの録画イベントリスト表示・VMD検索リスト画面で、絞込条件を表示・決定するときにも使います。この操作はテンキーの 5 でも同様に行うことができます。）
モニター（ESC） EXIT	検索画面を閉じます。 （※詳細は、HD300シリーズの取扱説明書をご覧ください。）

※レコーダーの機種によって、ファンクションボタンによる操作が必要な場合があります。HD300シリーズ、HD500シリーズ、HD200シリーズ、HD100シリーズでのディスプレイ表示とファンクションボタンの機能を以降に示します。

操作

<HD300シリーズの場合>

※HD300側のバージョン1.20以降の対応となります。

F1：ThumbまたはList

リスト表示画面で F1（Thumb）を押すと、サムネール画面に切り換わります。また、サムネール表示画面で F1（List）を押すと、リスト表示画面に切り換わります。なお、日付時刻検索画面で F1（Thumb）を押しても、変化はありません。

F3：Text

録画イベントリスト表示画面で、選択しているイベントの文字情報を表示します。なお、本機から文字情報の編集を行うことはできません。

F4：Copy

録画イベントリスト画面・VMD検索リスト画面・マーキングリスト画面を表示中（サムネール表示中は不可）にデータコピー画面を表示します。

SHIFT＋F1：Nr-A

再生対象とするメディアをレコーダーの通常・イベント録画領域に指定します。

SHIFT＋F2：Cp-A

再生対象とするメディアをレコーダーのコピー領域に指定します。

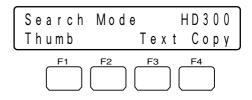
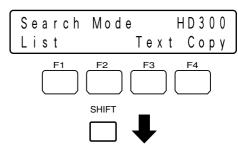
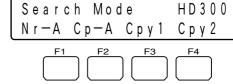
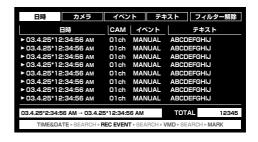
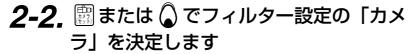
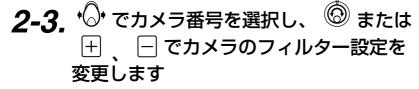
SHIFT＋F3：Cpy1

再生対象とするメディアをコピー1端子に接続した外部記憶装置に指定します。
※この機能は、HD350およびHD316Aでのみ動作します。

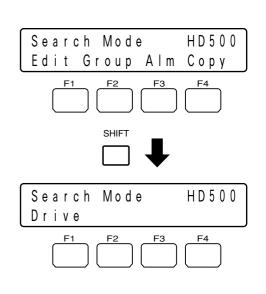
SHIFT＋F4：Cpy2

再生対象とするメディアをコピー2端子に接続した外部記憶装置に指定します。
※この機能は、HD350およびHD316Aでのみ動作します。

※これらの操作は、モニター(ESC)で前の画面に戻ります。
※各機能の詳細は、HD300シリーズの取扱説明書をご覧ください。

リスト表示画面時のディスプレイ
（日付時刻検索画面も含む）

サムネール表示画面時のディスプレイ

●絞込条件の表示・設定例

34ページの手順1の操作を繰り返して、録画イベントリストを表示します。

操作

● F1（Edit）の使用例

34ページの手順1の操作でレコードリスト画面が表示されます。

```
DATE 00-05-29          ALL GROUP
  NO       GROUP   TIME      REC-MODE
000010009  G2    23:59:59  T/L
000010008  G1    22:15:40  M/S ALM-TRM12
000010007  G3    21:00:07  O/S ALM-VMD3
000010006        17:33:05  T/L
000000005        07:23:11  T/L EMR
000000004  G4    06:59:44  M/S ALM-PC4
000000003        03:15:28  T/L MAN
000000002  G3    00:01:28  T/L ALM-TRM1
                (TOTAL      2343RECORD)

再生：▶  モドル：■テイシ  選択：ジョグ  DVD/CD：[ズーム]
検索：[画面表示]  コピー：[セット]→[コピー]
```

操作手順

2-1. F1 を押します

日付・時刻・グループ検索条件の設定欄が表示されます。

※再度 F1 を押すと、設定欄が閉じます。

検索条件入力欄（日付、時刻、グループ）

2-2. または で検索条件を選択して、または [+]、[−] で設定値を変更します

```
DATE 00-05-29          ALL GROUP
  NO       GROUP   TIME   REC-MODE
000010009  G2    23:59:59  T/L
000010008  G1    22:15:40  M/S ALM-TRM12
000010007  G3    21:00:07  O/S ALM-VMD3
000010006        17:33:05  T/L
000000005        07:23:11  T/L EMR
000000004  G4    06:59:44  M/S ALM-PC4
000000003        03:15:28  T/L MAN
000000002  G3    00:01:28  T/L ALM-TRM1
                (TOTAL      2343RECORD)

SEARCH:00-05-29     9:31 G1
アラーム#検索：[画面表示]
選択：◀▶  ヘンコウ：+−  ジッコウ：[セット]  モドル：■テイシ
```

2-3. カメラ（セット）を押します

条件に当てはまるレコードが表示されます。

<HD200シリーズの場合>

HD200シリーズは、ファンクションボタンによる操作はありません。

```
Search Mode     HD200
```

※HD200の検索機能は、バージョン1.24以降のみの対応となります。機能の詳細は、HD200シリーズの取扱説明書をご覧ください。

```
03-05-07 20:30:00
TO SEARCH PUSH PLAY KEY
```

3. 再生／一時停止 または カメラ（セット）を押します

指定した映像がモニターに再生されます。

※再生される画面はレコーダーの機種により異なります。詳しくは、お使いのレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

操作

簡単に日時を検索して再生する

見たい日付・時刻の映像を検索し、再生することができます。

操作手順

1. SHIFT + サーチ（時間サーチ） を押します

ディスプレイに日付・時刻の入力画面が表示されます。

```
YYYY/MM/DD  HH:MM 24
2004/02/17  00:00
```

※日時・時刻の表示パターンは、設定で変えることができます。
詳しくは、「簡単日時検索の表示パターン設定」（84ページ）をご覧ください。

2. 見たい日付・時刻を またはテンキーで入力します

「年」「月」「日」「時」「分」の間は または で移動します。選択している欄は点滅表示されます。

```
YYYY/MM/DD  HH:MM 24
2004/02/16  13:32
```

※入力を中止する場合は、 モニター（ESC） または EXIT を押してください。
通常表示に戻ります。

<HD500シリーズの場合>

HD500シリーズでは、日付・時刻を指定した後に録画グループを指定する必要があります。

2-1. 再生／一時停止 または カメラ（セット） を押します

ディスプレイに録画グループ指定画面が表示されます。

```
HD500 Index Search
Group Select=All-G
```

2-2. で録画グループを指定します

3. 再生／一時停止 または カメラ（セット） を押します

指定した時刻の映像がモニターに再生されます。

※再生される画面はレコーダーの機種により異なります。詳しくは、お使いのレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

操作

その他の機能を使う

お使いのレコーダーの機種により、以下の機能を操作することができます。
詳しくは、「メニュー機能を使う」（58ページ）をご覧ください。

・ディスク選択（HD300シリーズのみ）（77ページ）
・A－Bリピート再生（HD300シリーズのみ）（78ページ）
・フィルタ解除（HD300シリーズのみ）（78ページ）
・再生混在多画面表示（HD500シリーズのみ）（79ページ）
・A－Bリピート再生の実行（HD300シリーズのみ）（106ページ）
・レコードコピーの実行（HD500シリーズのみ）（107ページ）
・アラームサーチの実行（HD200／HD100シリーズのみ）（107ページ）

システム機器を操作する PS・Data

本機を使ってシステム機器（レコーダーを含む）を操作することができます。

画面を分割する

画面分割機能のあるシステム機器（例えばデジタルディスクレコーダー）が接続されているときに操作できます。

操作手順

1. システム機器、モニターを選択します（27、29ページ）

＜画面の分割パターンを指定する場合＞

画面の分割パターンを指定する場合は、以下の操作を行います。

1-1. 分割パターンに対応する数字をテンキーで入力します

```
Mon01 Cam016     ____2
  F1    F2    F3    F4
```

入力した数字がディスプレイに表示されます。

※入力する数字と分割パターンの対応は下表の通りです。

入力数字	分割パターン
0	4分割
1	7分割
2	9分割
3	10分割
4	13分割
5	16分割

2. ［多画面分割選択］を押します

モニターの画面が分割表示になります。
分割パターンを指定していない場合は、［多画面分割選択］を押すたびに、画面の分割パターンが切り換わります。

※画面分割数はシステム機器により異なります。詳しくは、お使いのシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

操作

電子ズームで画像を拡大する

電子ズーム機能のあるシステム機器を選択しているときに操作できます。

操作手順

1. **システム機器、モニター、カメラを選択します（27、29、30ページ）**

2. 電子ズーム **を押します**

モニターの画面が拡大されます。
電子ズーム を押すたびに、ズーム倍率が切り換わります。

※ズーム倍率はシステム機器により異なります。詳しくは、お使いのシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

3. **でズーム位置を移動します**

※ズーム位置の移動方法はシステム機器により異なります。詳しくは、お使いのシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

シーケンスを実行する

シーケンスとは、システム機器に登録されている順番にしたがい、カメラ映像を自動的に切り換えて監視する機能です。シーケンスには、通常のシーケンス（ツアーシーケンス）と、グループシーケンスがあります。

シーケンス（ツアーシーケンス）を実行する

シーケンス機能があるシステム機器を選択しているときに、シーケンスを実行できます。なお、システム機器によっては「ツアーシーケンス」と呼ぶ場合もあります。
※システム機器のシーケンス機能を設定しておく必要があります。

操作手順

1. **システム機器、モニターを選択します（27、29ページ）**

2. **シーケンス番号をテンキーで入力します**

入力した番号がディスプレイに表示されます。

```
Mon02 Cam001    ____1
  F1    F2    F3    F4
```

※番号を入力しない場合は、手順3の操作でシーケンス番号1が実行されます。

3. **［ツアーシーケンス/グループシーケンス］を押します**

シーケンスが実行され、ディスプレイのカメラ番号表示が「Seq」に変わります。

```
Mon02 Seq        HD350
  F1    F2    F3    F4
```

※シーケンス一時停止機能に対応しているシステム機器の場合、［シーケンス一時停止/シーケンス停止］を押すとシーケンス動作を一時停止できます。
一時停止中は、ディスプレイの「Seq」表示が「Seq-P」に変わります。

<シーケンス動作を終了するとき>

操作手順

1. **［SHIFT］＋［シーケンス一時停止/シーケンス停止］を押します**

シーケンス動作が終了します。

※システム機器によって、シーケンス停止機能に対応していない場合があります。その場合は、カメラ選択や多画面分割などの操作でシーケンス動作を停止することができます。

グループシーケンスを実行する

グループシーケンス機能があるシステム機器を選択しているときに、グループシーケンスを実行できます。

操作手順

1. システム機器、モニターを選択します（27、29ページ）

2. グループシーケンス番号をテンキーで入力します

入力した番号がディスプレイに表示されます。

```
Mon02 Cam001    ____2
  F1    F2    F3    F4
```

※番号を入力しない場合は、手順3の操作でグループシーケンス番号1が実行されます。

3. SHIFT ＋ ツアーシーケンス/グループシーケンス を押します

グループシーケンスが実行され、ディスプレイのカメラ番号表示が「Seq」に変わります。

```
Mon02 Seq        HD350
  F1    F2    F3    F4
```

※シーケンス動作の一時停止、終了の操作方法は、「シーケンス（ツアーシーケンス）を実行する」をご覧ください。

画面表示文字の操作

選択しているモニターに表示されている文字の表示／非表示を切り換えることができます。表示文字はシステム機器によって異なります。詳しくは、システム機器の取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. 画面表示 を押します

画面表示 を押すたびに、画面表示の表示／非表示が切り換わります。

システム機能を実行する

システム機器に設定されている機能（システム機能）を番号で呼び出して操作できます。番号と機能の対応については、お使いになるシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **システム機器、モニターを選択します（27、29ページ）**

2. **システム機能番号をテンキーで入力します**

入力した番号がディスプレイに表示されます。

```
Mon01 Cam001     ____3
  F1    F2    F3    F4
```

3. **SHIFT ＋ カメラ機能/システム機能 を押します**

入力した番号に対応したシステム機能が動作します。

モニターをロックする

選択しているモニターの状態を、他のユーザーから操作されないように設定または解除することができます。
モニターロックの仕様は、選択しているシステム機器によって異なります。詳しくは、システム機器の取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **システム機器、モニターを選択します（27、29ページ）**

2. **モニターロック/ログアウト を押します**

モニターロック/ログアウト を押すたびに、モニターロックの設定／解除が切り換わります。

システム機器をセットアップする

本機の操作で、システム機器をセットアップすることができます。詳しくは、「システム機器のセットアップ」（80ページ）をご覧ください。

カメラを操作する PS・Data

本機を使ってカメラを操作することができます。

パン・チルトの操作

回転台やコンビネーションカメラがシステム機器に接続されているときに操作できます。

操作手順

1. **システム機器、モニター、操作したいカメラを選択します（27、29、30ページ）**

2. **を押します**

ジョイスティックの傾ける角度を大きくするほど早く旋回します。

※旋回速度はカメラにより異なります。

ズームの操作

カメラに電動ズームレンズが取り付けられているときに操作できます。

操作手順

1. **システム機器、モニター、操作したいカメラを選択します（27、29、30ページ）**

2. **を回します**

ズームの倍率が変化します。
で望遠、 で広角になります。

※倍率はカメラに取り付けられているレンズにより異なります。

操作

アイリスの操作

カメラに絞り調節可能なレンズが取り付けられているときに操作できます。

操作手順

1. システム機器、モニター、操作したいカメラを選択します（27、29、30ページ）

2. [開] または [閉] を押します

[開] で絞りを開き、 [閉] で絞りを閉じます。

※アイリスをリセットするには、 [A] を押します。
（初期設定では、[A] にアイリスリセット機能が登録されています。登録されている機能を変更した場合は、「アイリスリセットの実行」（104ページ）の操作を行ってください。）

フォーカスの操作

カメラにピント調節可能なレンズが取り付けられているときに操作できます。

操作手順

1. システム機器、モニター、操作したいカメラを選択します（27、29、30ページ）

2. [遠] または [近] を押します

[遠] で遠くにピントを合わせ、 [近] で近くにピントを合わせます。

<オートフォーカスでピントを合わせるには>

オートフォーカス機能を使って、画面中央の被写体に自動でピントを合わせることができます。

操作手順

1. [B] または [ ] を押します

押したときの画面に対してのみ、オートフォーカスが働き、自動でピントを合わせます。

※初期設定では、 [B] と [ ] にオートフォーカス機能が登録されています。登録されている機能を変更した場合は、「オートフォーカスの実行」（103ページ）の操作を行ってください。

プリセットポジションの操作

プリセット機能とは、監視場所に番号をつけてカメラに登録しておくことによって、本機から登録した番号を入力するだけで番号に対応した位置にカメラを旋回させる機能です。この操作を行うためには、あらかじめプリセットポジションをカメラに登録しておく必要があります。

<プリセットポジションを実行する>

操作手順

1. **システム機器、モニター、操作したいカメラを選択します（27、29、30ページ）**

2. **テンキーでプリセット番号を入力します**

入力した番号がディスプレイに表示されます。

```
Mon02 Cam001     ____3
  F1    F2    F3    F4
```

3. **[プリセット プリセット登録] を押します**

登録されているプリセットポジションにカメラが旋回し、その位置の映像がモニターに表示されます。

```
Mon02 Cam001   Pre003
  F1    F2    F3    F4
```

<プリセットポジションを登録する>

操作手順

1. **登録したいカメラ位置にカメラの向きを合わせます**

2. **登録したいプリセット番号をテンキーで入力します**

入力した番号がディスプレイに表示されます。

```
Mon01 Cam001     ___12
  F1    F2    F3    F4
```

3. **[SHIFT] ＋ [プリセット プリセット登録] を押します**

プリセットポジションが登録され、ディスプレイに登録メッセージが表示されます。

```
Mon01 Cam001   Pre012
       Memory
```

※登録が正常に行われなかった場合（プリセット機能を持たないカメラに対して操作を行った場合など）は、エラーメッセージが数秒間表示されます。

```
Mon01 Cam001   Pre012
       Invalid
```

ホームポジションの操作

ホームポジションとは、監視時に基点となるプリセットポジションのことです。本機の操作で、カメラをホームポジションに旋回させることができます。この操作を行うためには、あらかじめホームポジションとするプリセットポジションをカメラに登録しておく必要があります（47ページ）。

操作手順

1. **システム機器、モニター、操作したいカメラを選択します（27、29、30ページ）**

2. **[プリセット/プリセット登録] を押します**

登録されているホームポジションにカメラが旋回し、その位置の映像がモニターに表示されます。

※ホームポジションは、[0] を入力してから [プリセット/プリセット登録] を押しても実行することができます。

カメラポジションを実行する

カメラポジションとは、カメラ番号とプリセット番号を関連付けて登録しておくことによって、本機から登録した番号を入力するだけで、カメラ選択とプリセットポジションへの移動を連動して実行できる機能です。あらかじめプリセットポジションおよびカメラポジションを登録しておく必要があります。（47ページ、93ページ）

操作手順

1. **システム機器、モニターを選択します（27、29ページ）**

2. **テンキーでカメラポジション番号を入力します**

入力した番号がディスプレイに表示されます。

```
Mon01 Cam001    ___11
  F1    F2    F3    F4
```

3. **[カメラポジション] を押します**

登録されているカメラおよびプリセットポジションが選択され、その位置の映像がモニターに表示されます。

```
Mon01 C-P011    HD350
  F1    F2    F3    F4
```

カメラ機能を実行する

カメラ機器の機能を番号で呼び出して操作できます。番号とカメラ機能の対応については、お使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. カメラを選択します（30ページ）

2. カメラ機能番号をテンキーで入力します

入力した番号がディスプレイに表示されます。

3. [カメラ機能/システム機能] を押します

入力した番号に対応したカメラ機能が動作します。

カメラ選択履歴を実行する

カメラ選択やカメラポジション選択操作を最大10件までさかのぼることができます。
電源を切ると履歴情報はクリアされます。

操作手順

1. （カメラを選択後）[プレビュー] ＋ [－] または [プレビュー] ＋ [＋] を押します

[プレビュー] ＋ [－] を押すと1つ前に選択したカメラ映像に戻ります。

[プレビュー] ＋ [＋] を押すと1つ後に選択したカメラ映像に進みます。

ワイパーの操作

ワイパー付きのカメラ（ハウジング）を選択しているときに操作できます。

操作手順

1. **カメラを選択します（30ページ）**

2. **［ワイパー］を押します**

［ワイパー］を押している間、ワイパーが動作します。

デフロスターの操作

デフロスター付きのカメラ（ハウジング）を選択しているときに操作できます。

操作手順

1. **カメラを選択します（30ページ）**

2. **［デフロスター/切］を押します**

デフロスターが動作します。
デフロスターは数分後に自動で停止します。

＜デフロスターを途中で停止するときは＞

操作手順

1. **［SHIFT］＋［デフロスター/切］を押します**

デフロスターが停止します。

外部機器の操作

外部制御機器に割り当てられた2系統の外部機器を制御することができます。システム機器にレシーバー（例：WV−RC150）などの外部制御機器が接続されているときに操作できます。

本機から外部機器を操作する方法は、外部制御機器のモード設定（ラッチモード、モーメンタリーモード）によって異なります。それぞれの場合の操作について説明します。

ラッチモードの場合

操作手順

1. **外部制御機器が接続されているシステム機器、モニター、カメラを選択します（27、29、30ページ）**

2. **[外部制御1入/切] または [外部制御2入/切] を押します**

外部制御機器に割り当てられている外部機器が動作します。

<外部機器の動作を停止するときは>

操作手順

1. **[SHIFT] ＋ [外部制御1入/切] または [SHIFT] ＋ [外部制御2入/切] を押します**

外部機器の動作が停止します。

モーメンタリーモードの場合

操作手順

1. **外部制御機器が接続されているシステム機器、モニター、カメラを選択します（27、29、30ページ）**

2. **[外部制御1入/切] または [外部制御2入/切] を押します**

[外部制御1入/切] または [外部制御2入/切] を押している間だけ、外部制御機器に割り当てられている外部機器が動作します。

その他の機能を使う

以下の機能は、ファンクションボタンを使って操作することができます。詳しくは、「メニュー機能を使う」（58ページ）をご覧ください。

・カメラのセットアップ（72ページ）
・オートモードの実行（73ページ）
・白黒モード切換（74ページ）
・カメラパトロールの設定（75ページ）
・オートパンの設定、実行（76ページ）
・カメラクリーニング（83ページ）
・カメラファンクションの実行（100ページ）
・オートパンの実行（101ページ）
・カメラシーケンスの実行（101ページ）
・カメラソートの実行（102ページ）
・カメラパトロールの実行（102ページ）
・ホームポジションの実行（103ページ）
・オートフォーカスの実行（103ページ）
・アイリスリセットの実行（104ページ）
・映像を一つ大きい番号のカメラに切り換える（104ページ）
・映像を一つ小さい番号のカメラに切り換える（105ページ）

アラームの操作 PS・Data

アラーム発生時の動作

1. システム機器やカメラにアラームが発生すると、本機にアラームが通知され、アラーム LEDが点滅します。アラーム動作中は、ディスプレイに「Alarm」が点滅表示し、カメラ番号表示が「- - -」となります。

```
Mon01 Cam---   HD350
      Alarm
```

2. アラームが自動的に解除（自動復帰）されると、アラーム LEDは一定時間経過すると、点滅から点灯に変わります。ディスプレイは通常表示に戻ります。

アラームを解除する

アラーム動作中（アラーム LED点滅）やアラーム自動復帰状態（アラーム LED点灯）の解除をすることができます。この操作を行うと、すべてのシステム機器のアラームが解除されます。

操作手順

1. アラーム復帰／アラームオールリセット を押します

すべての機器のアラームが解除され、アラーム LEDが消灯します。
ディスプレイは通常表示に戻ります。

※アラームが解除されたときの動作は、接続されているシステム機器により異なります。詳しくは、お使いになるシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

アラーム機能を抑止する

接続されているすべてのシステム機器に対して、一時的にアラームを受け付けない状態に設定することができます。

操作手順

1. SHIFT ＋ アラーム選択/アラーム抑止 **を押します**

アラーム抑止が設定され、 アラーム抑止 LEDが点灯します。

＜アラーム抑止を解除するときは＞

操作手順

1. **アラーム抑止中（ アラーム抑止 LED点灯中）に**
SHIFT ＋ アラーム選択/アラーム抑止 を押します

アラーム抑止が解除され、 アラーム抑止 LEDが消灯します。

アラーム履歴から検索して再生する

選択しているシステム機器のアラーム履歴から検索して再生することができます。アラーム履歴表示機能のあるシステム機器を選択しているときに操作できます。
※HD300シリーズに対してこの操作はできません。

操作手順

1. アラームリコール **を押します**

モニターにアラーム履歴が表示されます。
ディスプレイの一行目に「Alarm Recall」と表示されます。

```
Alarm Recall
```

※モニターに表示される検索画面は、レコーダーの機種により異なります。詳しくは、お使いのレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

2. **モニターのアラーム履歴画面に従って検索します**

※アラーム履歴画面での操作方法は、次ページの通りです。

操作	内　容
( )	カーソルを移動します。 （ は、HD500シリーズ、HD200シリーズで検索条件を表示しているときに使います。）
	検索画面やサムネール画面のページを切り換えます。
+ 、 − ( )	選択項目の設定値を変更します。 （ は、HD500シリーズ、HD200シリーズで検索条件を表示しているときに使います。）
テンキー	数字を入力するときに使います。 （HD300シリーズ、HD500シリーズ、HD200シリーズ、HD100シリーズではご使用になれません。）
カメラ（セット）	選択項目を決定するときに使います。
モニター（ESC） EXIT アラームリコール	アラーム履歴画面を閉じます。

※レコーダーの機種によって、ファンクションボタンによる操作が可能な場合があります。HD500シリーズ、HD200シリーズ、HD100シリーズでのディスプレイ表示とファンクションボタンの機能を以降に示します。

操作

<HD500シリーズの場合>

F1 ：Edit

アラーム履歴画面で、検索条件を切り換えます。

F2 ：Group

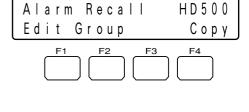
アラーム履歴画面で、選択しているグループを順番に切り換えます。

F4 ：Copy

選択している録画データを外部記録装置（DVD、CD-R）にコピーします。

※各機能の詳細は、HD500シリーズの取扱説明書をご覧ください。

● F1 （Edit）の使用例

54ページの手順1の操作でアラーム録画・緊急録画リスト画面が表示されます。

```
DATE 00-05-29            ALL GROUP
 NO         GROUP   TIME       REC-MODE
000010008   G1    22:15:40  M/S ALM-TRM12
000010007   G3    21:00:07  O/S ALM-VMD3
000000005         07:23:11  T/L EMR
000000004   G4    06:59:44  M/S ALM-PC4
000000002   G3    00:01:28  T/L ALM-TRM1
               (TOTAL       2343RECORD)

再生：▶  モト゛ル：■テイシ  選択：シ゛ョク゛  DVD/CD：［ス゛ーム］
検索：［画面表示］  コヒ゜ー：［セット］→［コヒ゜ー］
```

操作

操作手順

2-1. F1 を押します

日付・時刻・グループ検索条件の設定欄が表示されます。

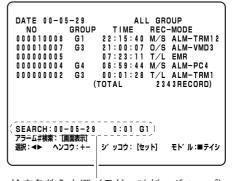
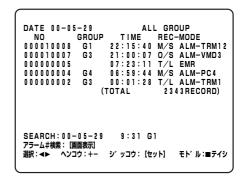
※再度 F1 を押すと、設定欄が閉じます。

検索条件入力欄（日付、時刻、グループ）

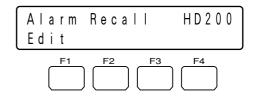
2-2. または で検索条件を選択して、 または ＋ 、− で設定値を変更します

2-3. カメラ（セット） を押します

条件に当てはまるレコードが表示されます。

<HD200シリーズの場合>

F1：Edit

アラーム履歴画面で、検索条件を表示します。

※HD200の検索機能は、バージョン1.24以降のみの対応となります。機能の詳細は、HD200シリーズの取扱説明書をご覧ください。

● F1（Edit）の使用例

54ページの手順1の操作でアラーム履歴画面が表示されます。

```
    ALARM RECALL  YEAR03
 NO.  DATE   TIME    ALM
 2000 06-14 20:30:00  T1
 1999 06-14 15:30:12  T3
 1998 06-14 12:15:04  T4
 1997 06-14 12:15:02  V8
 1996 06-14 10:07:05  V2
 1995 06-14 10:07:04  T2
 1994 06-14 10:06:55  T6
 1993 06-14 09:58:32  V5
(TOTAL  2000EVENTS)
 TO SEARCH PUSH T&D KEY
```

※ F1を押すと、日付・時刻検索条件入力欄が表示されます。
検索条件の設定方法については、前ページの「HD500シリーズの場合」をご覧ください。

```
    ALARM RECALL  YEAR03
 NO.  DATE   TIME    ALM
 2000 06-14 20:30:00  T1
 1999 06-14 15:30:12  T3
 1998 06-14 12:15:04  T4
 1997 06-14 12:15:02  T8
 1996 06-14 10:07:05  T2
 1995 06-14 10:07:04  T2
 1994 06-14 10:06:55  T6
 1993 06-14 09:58:32  T5
(TOTAL  2000EVENTS)
 SEARCH→03-06-10 23:58
```

検索条件入力欄（日付、時刻）

<HD100シリーズの場合>

HD100シリーズは、ファンクションボタンによる操作はありません。

```
Alarm Recall   HD100
```

3. 再生／一時停止 または カメラセット を押します

指定した映像がモニターに再生されます。

※再生される画面はレコーダーの機種により異なります。詳しくは、お使いのレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

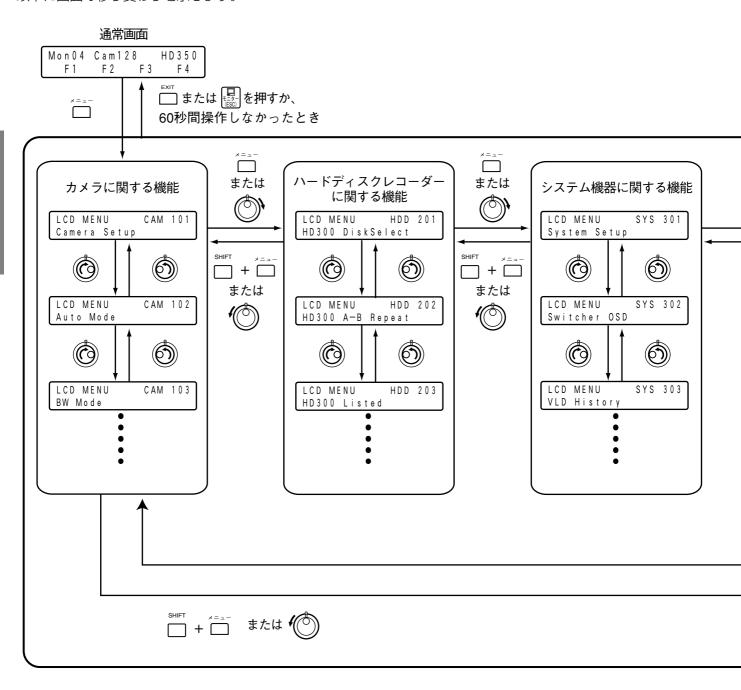
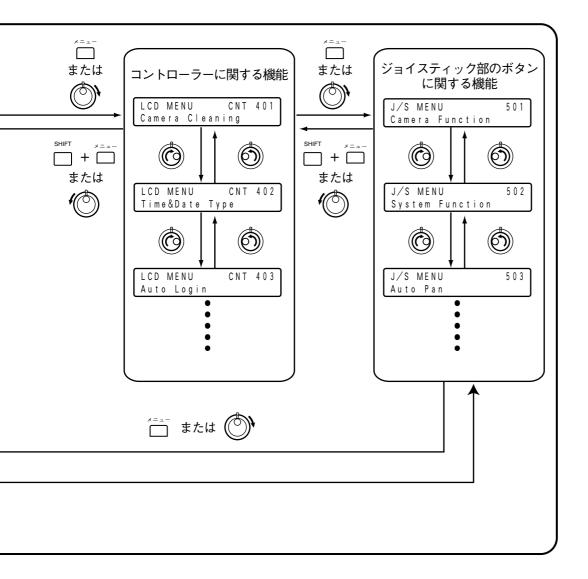
操作

メニュー機能を使う PS・Data

メニュー機能によって、システム機器やカメラなどの各種機能を実行することができます。メニュー機能は、ファンクションボタンに登録することにより、ボタン1つで簡単に実行することができます。詳しくは、「ファンクションボタンに機能を登録する」（67ページ）をご覧ください。

メニュー画面の流れ

通常画面で [メニュー] を押すと、メニュー機能画面が表示されます。画面表示はカテゴリーごとに分類されています。詳細については、「メニュー機能一覧」（60ページ～）をご覧ください。
以下に画面の移り変わりを示します。

メニュー
または
SHIFT
メニュー
または
コントローラーに関する機能
LCD MENU CNT 401
Camera Cleaning
LCD MENU CNT 402
Time&Date Type
LCD MENU CNT 403
Auto Login
メニュー
または
SHIFT
メニュー
または
ジョイスティック部のボタンに関する機能
J/S MENU 501
Camera Function
J/S MENU 502
System Function
J/S MENU 503
Auto Pan
メニュー
または

メニュー機能一覧

<カメラに関する機能>

画面表示	内　容
LCD MENU　　　CAM 101 Camera Setup	カメラメニューのON／OFF、および設定の変更を行います。
LCD MENU　　　CAM 102 Auto Mode	カメラのオートモード（シーケンス、ソート、オートパン、パトロール）のいずれかを実行します。
LCD MENU　　　CAM 103 BW Mode	白黒モード切換機能を4つのモード（「マニュアルOn」、「マニュアルOｆｆ」、「オート1」「オート2」）から1つを選んで起動します。
LCD MENU　　　CAM 104 Patrol Learn	カメラのパトロール機能の設定を行います。
LCD MENU　　　CAM 105 Auto Pan Setup	カメラのオートパン機能の設定を行います。

＜ハードディスクレコーダーに関する機能＞

画面表示	内　容
LCD MENU　　　HDD 201 HD300 DiskSelect	HD300シリーズで再生するディスク（内蔵HDDや外部記憶装置など）を選択します。（HD300シリーズ専用）
LCD MENU　　　HDD 202 HD300 A−B Repeat	HD300シリーズのA−Bリピート再生機能の設定（始点と終点）と解除を行います。（HD300シリーズ専用）
LCD MENU　　　HDD 203 HD300 Listed	HD300シリーズのフィルタリング条件を一時的に解除または復帰させることができます。（HD300シリーズ専用）
LCD MENU　　　HDD 204 HD500 V−Multi	HD500シリーズでライブ多画面に混在表示させる再生画を指定します。（HD500シリーズ専用）

＜システム機器に関する機能＞

画面表示	内　容
LCD MENU　　SYS 301 System Setup	システム機器のセットアップメニューを開き、設定情報を変更します。
LCD MENU　　SYS 302 Switcher OSD	使用しません。
LCD MENU　　SYS 303 VLD History	使用しません。
LCD MENU　　SYS 304 Mux VTR／CAM	マルチプレクサーのカメラ／ビデオの切り換えを操作します。（FS416専用）
LCD MENU　　SYS 305 Mux Still	マルチプレクサーのスチルをON／OFFします。（FS416専用）

＜コントローラーに関する機能＞

画面表示	内　容
LCD MENU　CNT 401 Camera Cleaning	カメラ番号（開始番号と終了番号）を指定してカメラクリーニングを実行します。
LCD MENU　CNT 402 Time&Date Type	簡単日時検索を行う際にディスプレイに表示される日付・時刻の表示パターンを選択します。
LCD MENU　CNT 403 Auto Login/out	コントローラー番号ごとに、オートログインまたはオートログアウトを設定します。
LCD MENU　CNT 404 Operator Setup	オペレーターの新規登録と、登録情報の変更を行います。
LCD MENU　CNT 405 Function Level	オペレーターに割り当てるファンクションレベルの変更を行います。
LCD MENU　CNT 406 Camera Level	オペレーターに割り当てるカメラレベルの変更を行います。
LCD MENU　CNT 407 Cam Posi Map	カメラ番号とプリセット番号を関連付けて、カメラポジションとして登録します。
LCD MENU　CNT 408 Cam-Unit Map	カメラ番号とユニットアドレスを関連付ける設定を行います。
LCD MENU　CNT 409 HDD-Unit Map	ハードディスクの番号（レコーダー番号）とユニットアドレスを関連付ける設定を行います。
LCD MENU　CNT 410 LCD Title	LCDメニュー（「F1」～「F4」、「F5」～「F8」）のタイトルを編集します。

操作

<ジョイスティック部のボタンに関する機能>

画面表示	内　容
J/S MENU 501 Camera Function	カメラに設定されているファンクション機能を実行します。
J/S MENU 502 System Function	システム機器に設定されているファンクション機能を実行します。
J/S MENU 503 Auto Pan	カメラのオートパン機能を実行します。
J/S MENU 504 Camera Sequence	カメラのシーケンス機能を実行します。
J/S MENU 505 Camera Sort	カメラのソート機能を実行します。
J/S MENU 506 Patrol Play	カメラのパトロール機能を実行します。
J/S MENU 507 Home Position	カメラのホームポジション機能を実行します。
J/S MENU 508 Auto Focus	カメラのオートフォーカス機能を実行します。
J/S MENU 509 Iris Reset	カメラのアイリスリセット機能を実行します。
J/S MENU 510 Camera +1	モニターに表示する映像を、カメラ番号が１つ大きいカメラの映像に切り換えます。
J/S MENU 511 Camera −1	モニターに表示する映像を、カメラ番号が１つ小さいカメラの映像に切り換えます。

＜ジョイスティック部のボタンに関する機能＞（つづき）

画面表示	内　容
J/S MENU 512 HD300 A−B Repeat	HD300シリーズのA－Bリピート再生機能を実行します。（HD300シリーズ専用）
J/S MENU 513 HD500 Copy	HD500シリーズのコピー機能を実行します。（HD500シリーズ専用）
J/S MENU 514 HD200 Alm Search	HD200シリーズのアラームサーチ機能を実行します。（HD200シリーズ専用）
J/S MENU 515 Multi 4−Seg	モニターの画面を4分割表示に切り換えます。
J/S MENU 516 Multi 7−Seg	モニターの画面を7分割表示に切り換えます。
J/S MENU 517 Multi 9−Seg	モニターの画面を9分割表示に切り換えます。
J/S MENU 518 Multi 10−Seg	モニターの画面を10分割表示に切り換えます。
J/S MENU 519 Multi 13−Seg	モニターの画面を13分割表示に切り換えます。
J/S MENU 520 Multi 16−Seg	モニターの画面を16分割表示に切り換えます。

メニュー機能の使い方

メニュー機能の使い方について説明します。

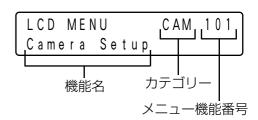
操作手順

1. 機能を実行させたい機器を選択します（27～30ページ参照）

```
Mon01 Cam016   HD350
  F1    F2    F3    F4
```

2. [メニュー] を押します

メニュー機能の選択画面が表示されます。

※あらかじめメニュー機能番号が分かっている場合は、この手順を省略できます。その場合は、テンキーを使ってメニュー機能番号を入力した後に [メニュー] を押して、手順4に進んでください。

3. 実行したい機能を選択します

でカテゴリーを選択します。

でカテゴリー内のメニュー機能を選択します。

```
LCD MENU      SYS 301
System Setup
```

4. [ENTER] または [カメラ(セット)] を押します

メニュー機能の実行画面が表示されます。

```
System Setup SYS 301
 On Off
```

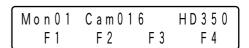
5. 選択したメニュー機能を実行します

操作方法は機能によって異なります。詳しくは、選択した機能の説明（72ページ～）をご覧ください。

6. [EXIT] または [モニター(ESC)] を押します

メニュー機能の選択画面に戻ります。

7. [EXIT] または [モニター(ESC)] を押します

通常画面に戻ります。

ファンクションボタンに機能を登録する

システム機器やカメラの各種機能を、ファンクションボタン（[F1] ～ [F4]、Ⓐ、Ⓑ、[ジョイスティック]）に割り当てることができます。これにより、お使いになるシステムに応じて、11種類の機能をボタン1つで簡単に呼び出すことができます。
※メニュー機能番号が100～400番台の機能については、「F1」～「F8」（[F1] ～ [F4]、[SHIFT] + [F1] ～ [SHIFT] + [F4]）にのみ割り当てることができます。

操作手順

1. [メニュー] を押します

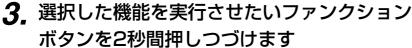
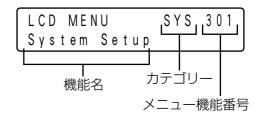
メニュー機能の選択画面が表示されます。
メニューの一覧については、「メニュー機能一覧」（60ページ）を参照してください。

```
LCD MENU      CAM 101
Camera Setup
```

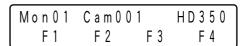
2. 登録したい機能を選択します

[ダイヤル] でカテゴリーを選択します。
[ジョグ] でカテゴリー内のメニュー機能番号を選択します。
メニューの一覧を表示している場合は、メニュー機能番号をテンキーで入力して [ENTER] を押しても選択することができます。

3. 選択した機能を実行させたいファンクションボタンを2秒間押しつづけます

機能が登録され、メッセージが数秒間表示されます。
「F5」～「F8」に登録したい場合は、[SHIFT] を押しながら [F1] ～ [F4] を押しつづけてください。

※登録方法は、機能によって異なるもの（カメラファンクション、システムファンクションなど）があります。これらの機能の登録方法については、68、69ページをご覧ください。

[F2] に登録した場合

4. [EXIT] または [モニター(ESC)] を押します

通常画面に戻ります。

カメラファンクションの登録方法

例として、ここでは Ⓐ にカメラ機能番号「1」を登録する場合について説明します。

操作手順

1. **メニューから「Camera Function」を選択します（66ページ手順1～3）**

カメラファンクションの画面が表示されます。

```
J/S MENU          501
Camera Function
```

2. **登録するカメラ機能番号「1」をテンキーで入力します**

入力した数字は数秒間表示されます。

```
J/S MENU        ____1
Camera Function
```

3. **入力した数字が表示している間に、Ⓐ を2秒間押しつづけます**

機能が登録され、メッセージが数秒間表示されます。

```
Camera Function   501
Assign A   Code=    1
```

4. **EXIT または モニター(ESC) を押します**

通常画面に戻ります。

```
Mon01 Cam001    HD350
  F1    F2   F3    F4
```

操作

システムファンクションの登録方法

例として、ここでは F2 にシステム機能番号「5」を登録する場合について説明します。

操作手順

1. **メニューから「System Function」を選択します（66ページ手順1〜3）**

システムファンクションの画面が表示されます。

```
J/S MENU              502
System Function
```

2. **登録するシステム機能番号「5」をテンキーで入力します**

入力した数字は数秒間表示されます。

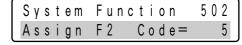
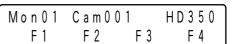
```
J/S MENU            ____5
System Function
```

3. **入力した数字が表示している間に、F2 を2秒間押しつづけます**

機能が登録され、メッセージが数秒間表示されます。

4. **EXIT または モニター(ESC) を押します**

通常画面に戻ります。

操作

ファンクションボタンの機能を呼び出す

各機能の呼び出し操作は、以下のとおりです。

ボタン操作	出荷時に登録されている機能	出荷時に登録されている機能 呼び出し時の表示
F1	カメラ機器のセットアップ	Camera Setup F1 On Off Rst A.Rst
F2	オートモードの実行	Auto Mode F2 Seq Sort Pan Patrol
F3	白黒モード切換	BW Mode F3 On Off Auto1 Auto2
F4	カメラのパトロール機能の設定	Patrol Learn F4 Start Stop
SHIFT + F1	システム機器のセットアップ	System Setup F5 On Off
SHIFT + F2	A−Bリピート再生	HD300 A−B Repeat F6 Start End Cancel
SHIFT + F3	フィルタ解除	HD300 Listed F7 On Off
SHIFT + F4	ディスク選択	HD300 DiskSelect F8 Nr−A Cp−A Cpy1 Cpy2
A	アイリス（絞り）のリセット	Iris Reset A
B	オートフォーカスの実行	Auto Focus B
	オートフォーカスの実行	Auto Focus J/S

操作

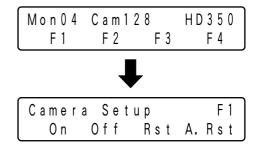
ディスプレイ表示は、SHIFT を押すと切り換わります。

```
Mon04 Cam128   HD350          Mon04 Cam128   HD350
  F1   F2   F3   F4   SHIFT →   F5   F6   F7   F8
```

「F1」～「F8」には、機能を示す名称を表示することができます。（「ディスプレイ表示タイトルの編集」（98ページ）参照）

操作手順

1. F1 を押します

ディスプレイに呼び出した機能名称が表示されます。

2. 機能を実行します

機能により手順が異なります。各機能の説明をご覧ください。

※機能の実行を中止する場合は、EXIT または モニター(ESC) を押して通常画面に戻ります。

ファンクションボタンに登録した機能を確認する

操作手順

1. SHIFT ＋ メニュー を押します

「F1」に登録された機能名が表示されます。

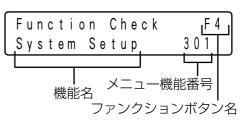
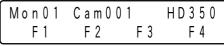
```
Function Check    F1
Camera Setup     101
```

2. を回して機能名を確認します

各ファンクションボタンに登録されている機能名が順番に表示されます。

3. EXIT または モニター(ESC) を押します

通常画面に戻ります。

操作

カメラに関する機能

カメラのセットアップ

選択しているカメラのセットアップメニューをモニターに表示し、各種設定ができます。
※表示されるセットアップメニュー、設定方法はカメラの機種により異なります。詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. メニューから「Camera Setup」を選択します（66ページ手順1〜4）

カメラセットアップの実行画面が表示されます。

```
Camera Setup       101
  On   Off   Rst  A.Rst
```

F1 F2 F3 F4

2. F1 を押します

モニターにカメラのセットアップメニューが表示され、ディスプレイの「On」の前に「 ▶ 」が点灯表示します。

```
Camera Setup       101
 ▶On   Off   Rst  A.Rst
```

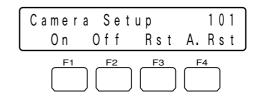
F1 F2 F3 F4

3. セットアップメニュー画面に従って、カメラの設定を行います

※セットアップメニュー画面での操作方法は、以下のとおりです。

操　作	内　容
（ジョイスティック上下左右）	カーソルの移動および設定値の変更を行います。
－、＋ （ジョグダイヤル）	設定値の変更を行います。
F3	カメラ特別メニュー表示を選択するときや、リフレッシュ動作を実行するときに使います。
F4	カメラ設定のオールリセットを実行するときに使います。
カメラ(セット) （ジョイスティックボタン）	下層メニューに移動するときに使います。
モニター(ESC)	上層メニューに戻るときに使います。
B	オートフォーカスを実行します。
SHIFT ＋ （ジョイスティック上下左右）	パン・チルト動作を行います。

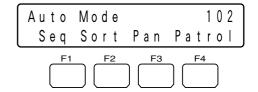
4. [F2] **を押します**

カメラのセットアップメニューが終了し、ディスプレイの「On」の前の「▶」が消えます。

オートモードの実行

カメラのオートモード（カメラシーケンス、カメラソート、オートパン、カメラパトロール）のいずれかを実行します。
※機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. メニューから「Auto Mode」を選択します（66ページ手順1〜4）

オートモードの実行画面が表示されます。

2. [F1] 〜 [F4] **を押して、動作させたい機能を選択します**

オートモード機能が動作します。

※ボタンに対応する動作は以下のとおりです。

[F1] **：Seq**

カメラシーケンスを実行します。

[F2] **：Sort**

カメラソートを実行します。

[F3] **：Pan**

オートパンを実行します。

[F4] **：Patrol**

カメラパトロールを実行します。

※ジョイスティックでパン・チルト動作を行うと、オートモードの動作が終了します。

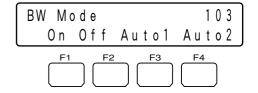
操作

白黒モード切換

カメラ映像を、カラーから白黒に切り換えることができます。暗い所を監視していて、感度を上げたいときなどに使います。
※機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. メニューから「BW Mode」を選択します（66ページ手順1～4）

白黒モードの実行画面が表示されます。

2. F1、F3、F4 のいずれかを押します

白黒モードの機能が実行します。

※ボタンに対応する動作は以下のとおりです。

F1 ：On

白黒映像に切り換えます。

F3 ：Auto1

Auto1モードに設定します。

F4 ：Auto2

Auto2モードに設定します。

※Auto1、Auto2モードに設定すると、画面の明るさによって、カラー映像と白黒映像を自動で切り換えることができます。詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
※お使いのカメラがAutoモードのみの場合は、F3 でAutoモードに設定できます。

＜映像をカラーに戻すとき＞

操作手順

1. F2 を押します

映像がカラーに戻ります。

操作

カメラパトロールの設定

カメラパトロール機能の設定を行います。機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

Patrol Learn　104
Start Stop
F1 F2 F3 F4

1. メニューから「Patrol Learn」を選択します（66ページ手順1～4）

カメラパトロールの設定画面が表示されます。

2. F1 を押します

カメラパトロールの設定が開始されます。

3. や などの操作で、記憶させたいカメラ動作を行います

パン・チルト／ズーム・フォーカス調節／アイリス調節などの動作を記録できます。

※記録可能な時間はカメラにより異なります。記録可能時間を超えると、記録は自動的に終了します。

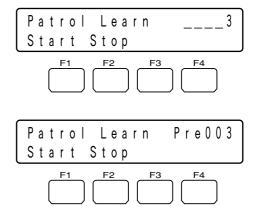
＜プリセットポジションの実行を記憶させる場合＞

記憶させる動作に、プリセットポジションの実行を含める場合は、以下の操作を行います。

3-1. プリセット番号を入力します

入力したプリセット番号がディスプレイに表示されます。
CLEAR を押すと、プリセット番号の入力をキャンセルすることができます。

3-2. プリセット を押します

プリセットポジションが実行されます。
プリセット番号が数秒間表示され、実行後は自動的に消えます。

4. F2 を押します

カメラパトロールの設定が終了します。

操作

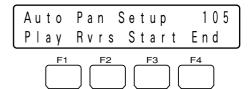
オートパンの設定、実行

オートパン機能の設定と実行を行います。カメラに始点と終点を設定し、その間を自動で旋回させることができます。
※機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

<オートパンの始点と終点を設定する>

操作手順

1. メニューから「Auto Pan Setup」を選択します（66ページ手順1～4）

オートパンの実行画面が表示されます。

2. 始点として設定したい地点で F3 を押します

オートパンの始点として記録されます。

3. 終点として設定したい地点で F4 を押します

オートパンの終点として記録されます。

<オートパンを実行する>

操作手順

1. F1 を押します

オートパンが実行され、設定された始点と終点の間をカメラが旋回します。
F2 を押してからオートパンを実行すると、旋回する範囲が反転します。

※ でパン・チルト動作を行うと、オートパンの動作は終了します。

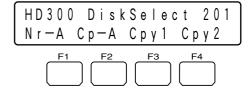
ハードディスクレコーダーに関する機能

ディスク選択（HD300シリーズのみ）

HD300シリーズで検索・再生するディスクを選択します。

操作手順

1. メニューから「HD300 DiskSelect」を選択します（66ページ手順1～4）

ディスク選択の実行画面が表示されます。

2. F1 ～ F4 のいずれかを押します

指定したディスクが選択されます。

※ボタンに対応する動作は以下のとおりです。

F1 ：Nr-A

再生対象とするメディアをレコーダーの通常・イベント録画領域に指定します。

F2 ：Cp-A

再生対象とするメディアをレコーダーのコピー領域に指定します。

F3 ：Cpy1

再生対象とするメディアをコピー1端子に接続した外部記憶装置に指定します。
※この機能は、HD350およびHD316Aでのみ動作します。

F4 ：Cpy2

再生対象とするメディアをコピー2端子に接続した外部記憶装置に指定します。
※この機能は、HD350およびHD316Aでのみ動作します。

※ディスクを指定するとモニターに検索画面が表示され、ディスプレイはサーチモード表示になります。この後は通常の検索機能が利用できます。（34ページ）

```
Search Mode      HD300
Thumb        Text Copy
```

A－Bリピート再生（HD300シリーズのみ）

再生中に再生開始位置（A点）と再生終了位置（B点）を設定して、2点間を繰り返し再生することができます。

操作手順

1. メニューから「HD300 A-B Repeat」を選択します（66ページ手順1～4）

A－Bリピート再生の実行画面が表示されます。

HD300 A−B Repeat 202
Start End Cancel
F1 F2 F3 F4

2. 再生中に、始点として設定したい地点で F1 を押します

再生開始位置（A点）が設定されます。

※ F4 を押すと、設定した位置がキャンセルされます。

3. 終点として設定したい地点で F2 を押します

再生終了位置（B点）が設定され、A－B間のリピート再生が開始します。

※再生画表示を終了するときは、 停止 を押します。

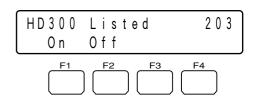
操作

フィルタ解除（HD300シリーズのみ）

絞り込み再生中に、一時的に絞り込み条件を解除および復帰させることができます。

操作手順

1. メニューから「HD300 Listed」を選択します（66ページ手順1～4）

フィルタ解除の実行画面が表示されます。
このとき、絞り込み条件が設定されていればディスプレイの「On」の前に、解除されていれば「Off」の前に「▶」が点灯表示します。

2. F2 を押します

絞り込み条件が解除され、ディスプレイの「Off」の前に「▶」が点灯表示します。
F1 を押すと、再度絞り込み条件が設定され、「On」の前に「▶」が点灯表示します。

再生混在多画面表示（HD500シリーズのみ）

カメラ映像を多画面で表示しているとき、その中の1画面をカメラの再生画に切り換えることができます。（1画面表示中は、再生画を混在して表示できません。）
※機能の詳細は、HD500シリーズの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. メニューから「HD500 V-Multi」を選択します（66ページ手順1～4）

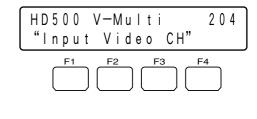
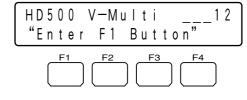
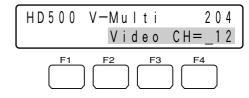
再生混在多画面表示の実行画面が表示されます。

2. テンキーで再生したいカメラ番号を入力します

入力した番号がディスプレイに表示されます。

3. [F1] を押します

ディスプレイの2行目が点滅し、再生画が分割画面の左上に表示されます。実行後は自動的に手順1の画面に戻ります。

※再生画表示を終了するときは、[停止 ■] を押します。

システム機器に関する機能

システム機器のセットアップ

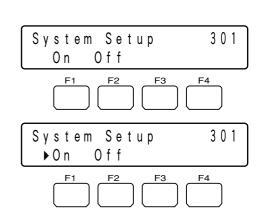
選択しているシステム機器のセットアップメニューを開き、各種設定ができます。
※表示されるセットアップメニュー、設定方法は、システム機器の機種により異なります。詳しくは、お使いのシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **メニューから「System Setup」を選択します（66ページ手順1～4）**

システム機器セットアップの実行画面が表示されます。

2. **F1 を押します**

モニターにシステム機器のセットアップメニューが表示され、ディスプレイの「On」の前に「▶」が点灯表示します。

3. **セットアップメニュー画面に従って、システム機器の設定を行います**

※セットアップメニュー画面での操作方法は､以下のとおりです。

操　作	内　容
	カーソルの移動を行います。
	ページの切り換えを行います。
−、＋	選択項目の設定値を変更します。
テンキー	数字の選択などを行います。
CLEAR 0	パスワードなどの文字列を消去するときに使います。（HD300シリーズのみ）
カメラ(セット)	下層メニューに移動するときに使います。
モニター(ESC)	上層メニューに戻るときに使います。

4. F2 **を押します**

System Setup　　301
　On　Off

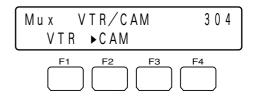
システム機器のセットアップメニューが終了します。

フレームスイッチャーのビデオ／カメラ切り換え（FS416のみ）

モニターに表示する映像を、ビデオ再生映像／カメラ映像に切り換えることができます。

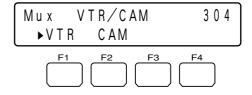
操作手順

1. メニューから「Mux　VTR/CAM」を選択します（66ページ手順1～4）

ビデオ／カメラ切り換えの実行画面が表示されます。
このとき、ビデオ／カメラが切り換わっている側に「▶」が表示されます。

2. F1 **または** F2 **を押します**

モニターの映像が切り換わり、ディスプレイの選択した側に「▶」が表示されます。

※ボタンに対応する動作は以下のとおりです。

F1 **：VTR**

モニターに表示する映像をビデオ再生映像に切り換えます。

※フレームスイッチャーにビデオ映像が入力されていない場合は、VTR側の「▶」が点滅表示となります。

ビデオ映像が入力されていない場合

Mux　VTR/CAM
▶VTR　CAM
F1　F2　F3　F4

F2 **：CAM**

モニターに表示する映像をカメラ映像に切り換えます。

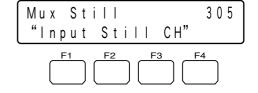
フレームスイッチャーのスチル機能（FS416のみ）

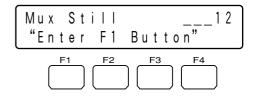
スチル機能を実行し、モニターの映像を静止画表示することができます。

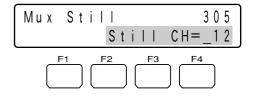
＜多画面表示の場合＞

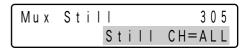
操作手順

1. メニューから「Mux Still」を選択します（66ページ手順1～4）

スチル機能の実行画面が表示されます。

2. **静止画にしたい映像のカメラ番号を、テンキーで入力します**

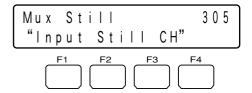
入力した番号がディスプレイに表示されます。
すべての映像を静止画にしたい場合は、何も入力しないか、「0」を入力します。

3. **F1 を押します**

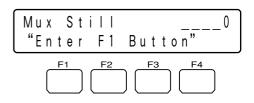
ディスプレイの2行目に番号が点滅表示し、選択した映像が静止画になります。実行後は自動的に手順1の画面に戻ります。

※すべての映像を静止画にした場合は、ディスプレイの2行目に「Still CH=ALL」が点滅表示されます。

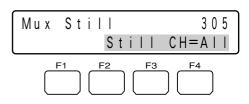
操作

＜1画面表示の場合＞

操作手順

1. **メニューから「Mux Still」を選択します（66ページ手順1～4）**

スチル機能の実行画面が表示されます。

2. **テンキーで「0」を入力します**

※この操作は省略することもできます。

3. **F1 を押します**

ディスプレイの2行目に「Still CH=ALL」が点滅表示し、モニターの映像が静止画になります。実行後は自動的に手順1の画面に戻ります。

コントローラーに関する機能

カメラクリーニング

プリセット機能付きコンビネーションカメラを選択している場合、カメラクリーニングを実行してプリセットポジションを補正することができます。

操作手順

1. **メニューから「Camera Cleaning」を選択します（66ページ手順1〜4）**

カメラクリーニング機能の実行画面が表示されます

2. **カメラクリーニングを開始するカメラ番号を 、テンキーまたは ＋ 、 − を使って選択します**

3. **または でカーソルを右に移動させます**

終了するカメラ番号を選択できる状態になります。

4. **カメラクリーニングを終了するカメラ番号を 、テンキーまたは ＋ 、 − を使って選択します**

※ または でカーソルは左に戻ります。

5. **F1 を押します**

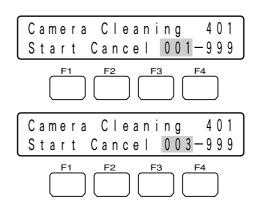
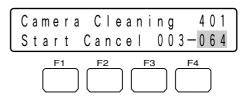
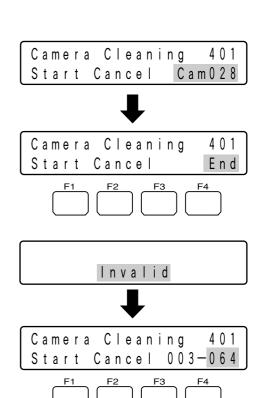
開始番号から終了番号までのカメラに対してクリーニングが実行されます。

ディスプレイにはクリーニングを開始したカメラ番号が表示され、終了すると「End」と表示されます。

※クリーニングを途中で終了させる場合は F2 を押します。

※「End」と表示された後、カメラがクリーニング動作を完了するまでには、数分程度かかる場合があります。

※開始番号より終了番号の値が小さい場合は、右の画面が表示され、手順4の画面に戻ります。
開始番号より終了番号が大きい値になるように選択し直してください。

操作

簡単日時検索の表示パターン設定

簡単日時検索を行う際に、ディスプレイに表示される日付・時刻の表示パターンを設定します。設定できる表示パターンは10種類です。

操作手順

1. メニューから「Time&Date Type」を選択します（66ページ手順1～4）

```
Time&Date Type    402
YYYY/MM/DD  HH:MM 24
```

表示パターン設定画面が表示されます。

2. ◎または + 、 − を使って表示パターンを選択します

```
Time&Date Type    402
Mmm/DD/YYYY HH:MM 12
```

※選択できるパターンは、以下のとおりです。

タイプ	表示パターン		表示の内容	
1	DD/MM/YYYY	HH:MM 24	日／月／年	時：分（24時間制）
2	MM/DD/YYYY	HH:MM 24	月／日／年	時：分（24時間制）
3	DD/Mmm/YYYY	HH:MM 24	日／月（英）／年	時：分（24時間制）
4※	YYYY/MM/DD	HH:MM 24	年／月／日	時：分（24時間制）
5	Mmm/DD/YYYY	HH:MM 24	月（英）／日／年	時：分（24時間制）
6	DD/MM/YYYY	HH:MM 12	日／月／年	時：分（12時間制）
7	MM/DD/YYYY	HH:MM 12	月／日／年	時：分（12時間制）
8	DD/Mmm/YYYY	HH:MM 12	日／月（英）／年	時：分（12時間制）
9	YYYY/MM/DD	HH:MM 12	年／月／日	時：分（12時間制）
0	Mmm/DD/YYYY	HH:MM 12	月（英）／日／年	時：分（12時間制）

※初期設定

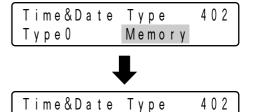
3. ENTER または カメラセット を押します

```
Time&Date Type    402
Type0      Set OK?
```

確認画面が表示されます。

※設定を中止する場合は、 EXIT または モニター(ESC) を押してください。

4. ENTER または カメラセット を押します

表示パターンが設定されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、表示パターンの選択画面に戻ります。

操作

オートログイン／オートログアウトの設定

オートログイン／オートログアウトの設定をします。オートログインを設定すると、本機に電源を入れたとき自動的にログインできるようになります。オートログアウトを設定すると、ログイン状態で一定時間操作が行われなかった場合に、自動的にログアウトします。
※オートログインとオートログアウトを同じコントローラー番号に対して設定することはできません。

操作手順

1. メニューから「Auto Login/out」を選択します（66ページ手順1～4）

オートログイン／ログアウトの設定画面が表示されます。

```
Auto Login/out   403
Cont No.1 Off
```

2. オートログインまたはオートログアウトを設定したいコントローラー番号を ◎ または ＋、－ で選択します

※オートログインとオートログアウトを同じコントローラー番号に対して設定することはできません。

```
Auto Login/out   403
Cont No.6 Off
```

3. ◎ または ◎ でカーソルを右に移動させます

オペレーター番号とオートログアウト時間を選択できる状態になります。

＜オートログインを設定する場合＞

4. オートログインさせたいオペレーター番号を ◎ または ＋、－ で選択します

※ ◎ または ◎ でコントローラー番号の選択に戻ります。

```
Auto Login/out   403
Cont No.6 Operator06
```

＜オートログアウトを設定する場合＞

4. オートログアウトするまでの時間を ◎ または ＋、－ で選択します

オートログアウトするまでの時間は5分、10分、30分、60分、120分から選択できます。

※オートログアウトの設定は、次回ログイン後から有効になります。
※ ◎ または ◎ でコントローラー番号の選択に戻ります。

```
Auto Login/out   403
Cont No.6 Logout 30
```

操作

5. ENTER または カメラセット を押します

確認画面が表示されます。

```
Auto Login/out   403
Cont No.6 Set OK?
```

※設定を中止する場合は、 EXIT または モニター(ESC) を押してください。

6. ENTER または カメラセット を押します

オートログインまたはオートログアウトが設定されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、コントローラー番号選択画面に戻ります。

オートログイン設定した場合

<オートログイン／オートログアウト設定の解除>

オートログイン／オートログアウト設定を解除するときは、以下の操作を行ってください。

操作手順

1. オートログインまたはオートログアウトの設定を解除したいコントローラー番号を ◎ または ＋ 、 − で選択します

```
Auto Login       403
Cont No.6 Operator06
```

オートログイン設定を解除する場合

2. CLEAR を押します

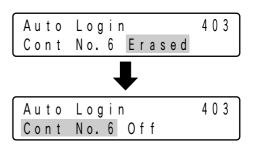
確認画面が表示されます。

```
Auto Login       403
Cont No.6 Clear OK?
```

※解除を中止する場合は、 EXIT または モニター(ESC) を押してください。

3. ENTER または カメラセット を押します

オートログインまたはオートログアウトの設定が解除されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、コントローラー番号選択画面に戻ります。

操作

オペレーターの登録・変更

オペレーターの新規登録および登録内容の変更を行います。オペレーターは16ユーザーまで登録できます。
初期設定で登録されているオペレーター情報は、23ページを参照してください。

操作手順

1. メニューから「Operator Setup」を選択します（66ページ手順1〜4）

オペレーターの登録・変更画面が表示されます。

```
Operator Setup   404
Operator01
```

2. 新規登録または設定内容を変更したいオペレーター番号を、 または [+] 、 [−] で選択します

※新規登録を行う場合は、右側に「No Assign」と表示されているオペレーター番号を選択してください。

```
Operator Setup   404
Operator02
```

```
Operator Setup   404
Operator07 No Assign
```

3. ENTER または カメラ(セット) を押します

ユーザーIDの設定画面が表示されます。

```
Operator07       404
User ID=           1
```

※ EXIT または モニター(ESC) を押すと、1つ前の画面に戻ります。

4. ユーザーIDをテンキーを使って入力します

ユーザーIDは、1〜99999の間で設定できます。
誤った数字を入力した場合は、 CLEAR を押して数字を消去してください。

```
Operator07       404
User ID=         777
```

※ EXIT または モニター(ESC) を押すと、1つ前の画面に戻ります。

5. ENTER または カメラ(セット) を押します

パスワードの入力画面が表示されます。

```
Operator07       404
Password=      12345
```

※ EXIT または モニター(ESC) を押すと、1つ前の画面に戻ります。

6. パスワードをテンキーを使って入力します

パスワードは1〜99999の間で設定できます。
誤った数字を入力した場合は CLEAR を押して数字を消去してください。

```
Operator07       404
Password=        333
```

操作

7. ENTER または カメラ(セット) を押します

ファンクションレベルの設定画面が表示されます。

```
Operator07        404
Function Level    = 1
```

※ EXIT または モニター(ESC) を押すと、1つ前の画面に戻ります。

8. ファンクションレベルを ジョイスティック または ＋ 、 − で選択します

※ファンクションレベルの詳細は、「ファンクションレベルの変更」(90ページ) をご覧ください。

```
Operator07        404
Function Level    = 2
```

※オペレーター1は、ファンクションレベルの変更ができません。変更しようとすると、右の画面が表示されます。

```
Operator01        404
    Level1 Fixed
```

9. ENTER または カメラ(セット) を押します

カメラレベルの設定画面が表示されます。

```
Operator07        404
Camera Level      = 1
```

※ EXIT または モニター(ESC) を押すと、1つ前の画面に戻ります。

10. カメラレベルを ジョイスティック または ＋ 、 − で選択します

※カメラレベルの詳細は、「カメラレベルの変更」(92ページ) をご覧ください。

```
Operator07        404
Camera Level1     = 2
```

※オペレーター1は、カメラレベルの変更はできません。変更しようとすると、右の画面が表示されます。

11. ENTER または カメラ(セット) を押します

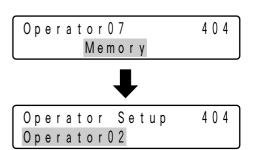
確認画面が表示されます。

```
Operator07        404
    Set OK?
```

※ EXIT または モニター(ESC) を押すと、1つ前の画面に戻ります。

12. ENTER または カメラ(セット) を押します

設定した内容でオペレーターが登録されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、オペレーター番号の入力画面に戻ります。

操作

<オペレーターの削除>

オペレーター登録を削除するときは、以下の操作を行ってください。
※オペレーター1は「全機能が利用可能」（ファンクションレベル1）、「全てのカメラ番号が利用可能」（カメラレベル1）を固定としており、削除することができません。

操作手順

1. 登録を削除したいオペレーター番号を または + 、 − で選択します

```
Operator Setup   404
Operator07
```

※登録されていないオペレーターを選ぶと、番号の右側に「No Assign」と表示されます。

```
Operator Setup   404
Operator15 No Assign
```

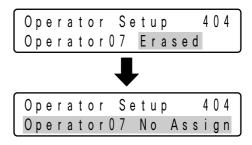
2. CLEAR を押します

確認画面が表示されます。

```
Operator Setup   404
Operator07 Clear OK?
```

※削除を中止する場合は、 EXIT または を押してください。

3. ENTER または を押します

オペレーター登録内容が削除されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、オペレーター番号の選択画面に戻ります。

ファンクションレベルの変更

オペレーターが利用できる機能ボタンの制限を設定する、ファンクションレベル（機能制限）の内容を変更します。ファンクションレベルはテーブル1～3までありますが、ファンクションレベル1（テーブル1）は「全機能が利用可能」で固定されているため変更はできません。

操作手順

1. **メニューから「Function Level」を選択します（66ページ手順1～4）**

ファンクションレベルの変更画面が表示されます。

```
Function Level    405
Table No.          =1
```

2. **変更したいレベルのテーブル番号を、テンキーまたは [+]、[−] で選択します**

```
Function Level    405
Table No.          =2
```

3. **[カメラ(セット)] を押します**

選択したテーブル番号の設定画面が表示されます。

```
Function Table2   405
01 MENU            =E
```

4. **許可／禁止を変更したい機能ボタン項目を、テンキーまたは [+]、[−] で選択します**

選択している機能ボタン項目が表示されます。

```
Function Table2   405
08 IRIS OPEN/CLOSE=E
```

※選択できる機能ボタン項目とテーブル2、テーブル3の初期設定は以下のとおりです。

表示される機能ボタン	テーブル2	テーブル3	表示される機能ボタン	テーブル2	テーブル3
01 MENU	D	D	22 STOP	E	E
02 F1-F4	E	E	23 REC	E	D
03 F5-F8	E	E	24 ALM SUSPEND	E	D
04 A B	E	E	25 ALM RERET	E	E
05 TOP SW	E	E	26 OSD	E	E
06 JOYSTICK	E	E	27 ALM RECALL	E	E
07 FOCUS NEAR/FAR	E	E	28 SEQ PAUSE	E	E
08 IRIS OPEN/CLOSE	E	D	29 SEQUENCE	E	E
09 CAM/SET	E	E	30 MULTI SCREEN	E	E
10 MON/ESC	E	E	31 EL-ZOOM	E	E
11 UNIT	E	E	32 AUX1 ON/OFF	E	E
12 RECORDER	E	E	33 AUX2 ON/OFF	E	E
13 CAM POSI	E	E	34 DEF ON/OFF	E	E
14 PRESET	E	E	35 WIPER ON	E	E
15 PGM PRESET	D	D	36 SYS FUNC	D	D
16 PREVIEW	E	E	37 CAM FUNC	D	D
17 -/+	E	E	38 GO TO LAST	E	E
18 JOG DIAL	E	E	39 MARK	E	E
19 SHUTTLE RING	E	E	40 SEARCH	E	E
20 SHUTTLE HOLD	E	E	41 T&D SEARCH	E	E
21 PLAY/PAUSE	E	E			

注：Eは許可、Dは禁止を示しています。

5. または でカーソルを右に移動させます

「許可：E／禁止：D」を選択する画面になります。

※ または で機能ボタンの選択画面に戻ります。

```
Function Table2  405
08 IRIS OPEN/CLOSE=E
```

6. または ＋ 、 − で許可（E）／禁止（D）を選択します

複数の機能制限を変更する場合は、手順4〜手順6を繰り返します。

```
Function Table2  405
08 IRIS OPEN/CLOSE=D
```

7. ENTER または カメラ(セット) を押します

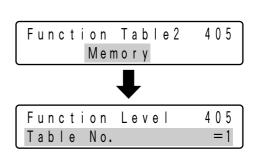
確認画面が表示されます。

※ EXIT または モニター(ESC) を押すと、1つ前の画面に戻ります。

```
Function Table2  405
      Set OK?
```

8. ENTER または カメラ(セット) を押します

選択したテーブル番号のファンクションレベルが設定されます。ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、テーブル選択画面に戻ります。

操作

カメラレベルの変更

オペレーターが利用できるカメラ機能の制限を設定する、カメラレベル（カメラ機能制限）の内容を変更します。カメラレベルはテーブル1〜3までありますが、カメラレベル1（テーブル1）は「全てのカメラ番号が利用可能」で固定されているため変更はできません。また初期設定では、テーブル2、テーブル3についても、全てのカメラ番号が利用できる状態になっています。

操作手順

1. メニューから「Camera Level」を選択します（66ページ手順1〜4）

カメラレベルの変更画面が表示されます。

```
Camera Level      406
Table No.          =1
```

2. 変更したいレベルのテーブル番号を 、テンキーまたは ＋ 、 − で選択します

```
Camera Level      406
Table No.          =3
```

3. を押します

選択したテーブル番号の設定画面が表示されます。

```
Camera Table3     406
Cam001             =E
```

4. 許可／禁止を変更したいカメラ番号を 、テンキーまたは ＋ 、 − で選択します

```
Camera Table3     406
Cam064             =E
```

※選択できるカメラ番号は1〜999です。

5. または でカーソルを右に移動させます

「表示、制御とも可：E／表示のみ可（制御不可）：D」を選択する画面になります。

```
Camera Table3     406
Cam064             =E
```

※ または でカメラ番号選択画面に戻ります。

6. または ＋ 、 − で許可（E）／禁止（D）を選択します

複数のカメラ番号の制限を変更する場合は、手順4〜手順6を繰り返します。

```
Camera Table3     406
Cam064             =D
```

7. ENTER または を押します

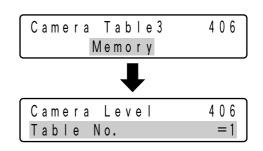
確認画面が表示されます。

```
Camera Table3     406
      Set OK?
```

※ EXIT または を押すと、1つ前の画面に戻ります。

操作

8. ENTER または を押します

選択したテーブル番号のカメラレベルが設定されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、テーブル選択画面に戻ります。

カメラポジション番号の登録・削除

カメラ番号とプリセット番号を関連付けてカメラポジション番号として登録できます。登録すると、1つのボタンでカメラ番号とポジション番号を指定して、モニターに画像を表示することができます。カメラポジションは最大で1000件まで登録可能です。

操作手順

1. **メニューから「Cam Posi Map」を選択します（66ページ手順1～4）**

カメラポジション番号の登録・削除画面が表示されます。

```
Cam Posi Map        407
Cam-P001  C001  Pre001
```

2. **登録したいカメラポジション番号を 、テンキーまたは + 、 − で選択します**

```
Cam Posi Map        407
Cam-P016  C001  Pre016
```

※新規の番号を登録する場合は、テンキーで選択してください。
※選択できるカメラポジション番号は1～999と000（1000件目）です。

3. **または でカーソルを右に移動させます**

カメラ番号を選択できる状態になります。

※ または でカーソルは左に戻ります。

4. **指定したいカメラ番号を 、テンキーまたは + 、 − で選択します**

```
Cam Posi Map        407
Cam-P016  C005  Pre016
```

※選択できるカメラ番号は1～999です。

5. **または でカーソルを右に移動させます**

プリセット番号を選択できる状態になります。

※ または でカーソルは左に戻ります。

操
作

6. **指定したいプリセット番号を（ジョイスティック）、テンキーまたは［＋］、［－］で選択します**

```
Cam Posi Map      407
Cam−P016 C005 Pre032
```

※選択できるプリセット番号は1〜256です。

7. **［ENTER］または［カメラセット］を押します**

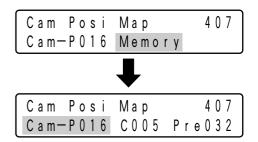
確認画面が表示されます。

```
Cam Posi Map      407
Cam−P016 Set OK?
```

※ ［EXIT］または［モニター(ESC)］を押すと、1つ前の画面に戻ります。

8. **［ENTER］または［カメラセット］を押します**

指定したカメラ、プリセット番号でカメラポジションが登録されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、カメラポジション番号の選択画面に戻ります。

操
作

<カメラポジション登録の削除>

カメラポジション登録を削除するときは､以下の操作を行ってください。

操作手順

1. **登録を削除したいカメラポジション番号を、（ジョイスティック）、テンキーまたは［＋］、［－］で選択します**

```
Cam Posi Map      407
Cam−P016 C005 Pre032
```

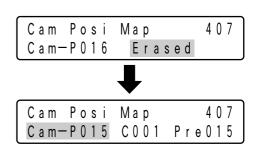
2. **［CLEAR］を押します**

確認画面が表示されます。

```
Cam Posi Map      407
Cam−P016  Clear OK?
```

※削除を中止する場合は、［EXIT］または［モニター(ESC)］を押してください。

3. **［ENTER］または［カメラセット］を押します**

カメラポジション登録が削除されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、カメラポジション番号の選択画面に戻ります。

カメラ番号とユニットアドレスの関連付け

カメラ番号とユニットアドレスの関連付けを登録します。関連付けを登録すると、別のユニットに接続されているカメラに切り換える場合でも、カメラ番号だけで選択できるようになります。
※関連付けを有効（Enable）設定にした場合、関連付けされていないカメラは選択できなくなります。

※初期設定では有効（Enable）に設定され、下表の通りに関連付けされています。

カメラ番号	ユニットアドレス
1～16	1
17～32	2
33～48	3
49～64	4

操作手順

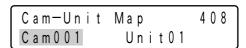
1. **メニューから「Cam-Unit Map」を選択します（66ページ手順1～4）**

カメラ番号とユニットアドレスの関連付け設定画面が表示されます。

2. **または で「Enable」に「▶」を移動します**

※初期設定では、「Enable」に設定されています。
※無効（Disable）設定にする場合は、「Disable」に「▶」を移動します。

Cam−Unit Map 408
▶Disable Enable

無効設定にする場合

3. **ENTER または カメラ(セット) を押します**

カメラ番号を選択する画面が表示されます。

4. **カメラ番号を 、テンキーまたは +、− で選択します**

※新規の番号を登録する場合は、テンキーで選択してください。
※選択できるカメラ番号は1～999です。

5. **または でカーソルを右に移動します**

ユニットアドレスを選択できる状態になります。

※ または でカーソルは左に戻ります。

6. **ユニットアドレスを 、テンキーまたは +、− で選択します**

Cam−Unit Map 408
Cam016 Unit02

※選択できるユニットアドレスは1～99です。

操作

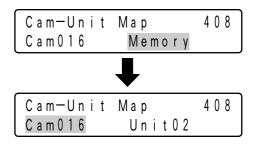
7. ENTER または カメラ(セット) **を押します**

```
Cam−Unit Map        408
Cam016      Set OK?
```

確認画面が表示されます。

※登録を中止する場合は、 EXIT または モニター(ESC) を押してください。

8. ENTER または カメラ(セット) **を押します**

指定したカメラ番号とユニットアドレスの関連付けが登録されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、カメラ番号の選択画面に戻ります。

<カメラ番号とユニットアドレスの関連付け登録の削除>

関連付け登録を削除するときは、以下の操作を行ってください。

操作手順

1. **メニューから「Cam-Unit Map」を選択します（66ページ手順1～4）**

```
Cam−Unit Map        408
 Disable   ▶Enable
```

カメラ番号とユニットアドレスの関連付け設定画面が表示されます。

2. ENTER または カメラ(セット) **を押します**

```
Cam−Unit Map        408
Cam001      Unit01
```

カメラ番号を選択する画面が表示されます。

3. **カメラ番号を** ◎ **、テンキーまたは** ⊞ **、** ⊟ **で選択します**

```
Cam−Unit Map        408
Cam016      Unit02
```

※選択できるカメラ番号は1～999です。

4. CLEAR **を押します**

```
Cam−Unit Map        408
Cam016      Clear OK?
```

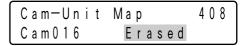
確認画面が表示されます。

※解除を中止する場合は、 EXIT または モニター(ESC) を押してください。

5. ENTER または カメラ(セット) **を押します**

選択した関連付け登録が削除されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、カメラ番号の選択画面に戻ります。

※すべての登録が削除された場合、カメラ番号に「000」と表示されます。

操作

レコーダー番号とユニットアドレスの関連付け

レコーダー番号とユニットアドレスの関連付けを登録します。関連付けを登録すると、レコーダー機器を任意のレコーダー番号で選択できるようになります。
※初期設定で、レコーダー番号1～16とユニットアドレス1～16は関連付け登録されています。

操作手順

1. メニューから「HDD-Unit Map」を選択します（66ページ手順1～4）

```
HDD-Unit Map      409
HDD01        Unit01
```

レコーダー番号とユニットアドレスの関連付け設定画面が表示されます。

2. 登録したいレコーダー番号を 、テンキーまたは [+] 、 [−] で選択します

```
HDD-Unit Map      409
HDD06        Unit06
```

※選択できるレコーダー番号は1～16です。

3. または でカーソルを右に移動します

ユニットアドレスを選択できる状態になります。

※ または でカーソルは左に戻ります。

4. ユニットアドレスを 、テンキーまたは [+] 、 [−] で選択します

```
HDD-Unit Map      409
HDD06        Unit05
```

※選択できるユニットアドレスは1～99です。

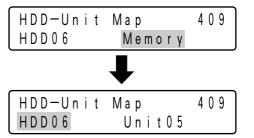
5. ENTER または カメラ(セット) を押します

```
HDD-Unit Map      409
HDD06        Set OK?
```

確認画面が表示されます。

※登録を中止する場合は、 EXIT または モニター(ESC) を押してください。

6. ENTER または カメラ(セット) を押します

指定したレコーダー番号とユニットアドレスの関連付けが登録されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、レコーダー番号の選択画面に戻ります。

<レコーダー番号とユニットアドレスの関連付け登録の削除>

関連付け登録を削除するときは、以下の操作を行ってください。

操作手順

1. メニューから「HDD-Unit Map」を選択します（66ページ手順1～4）

HDD-Unit Map　409
HDD01　Unit01

レコーダー番号とユニットアドレスの関連付け設定画面が表示されます。

2. 削除したいレコーダー番号を 、テンキーまたは [+]、[−] で選択します

HDD-Unit Map　409
HDD06　Unit05

※選択できるレコーダー番号は1～16です。

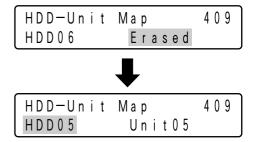
3. CLEAR を押します

HDD-Unit Map　409
HDD06　Clear OK?

確認画面が表示されます。

※解除を中止する場合は、EXIT または モニター(ESC) を押してください。

4. ENTER または カメラセット を押します

選択した関連付け登録が削除されます。
ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、レコーダー番号の選択画面に戻ります。

※すべての登録が削除された場合、レコーダー番号に「00」と表示されます。

ディスプレイ表示タイトルの編集

ディスプレイの通常画面で、ファンクションボタンに対応する文字表示を編集できます。F1～F4用、F5～F8用の2種類のタイトルを編集でき、ファンクション登録した機能名称などに変更しておくと便利です。

操作手順

1. メニューから「LCD Title」を選択します（66ページ手順1～4）

ディスプレイ表示タイトル編集の実行画面が表示されます。

2. 編集したいタイトルグループを、で選択します

選択しているグループにカーソルが点滅します。

3. ENTER または カメラ(セット) を押します

タイトル編集画面が表示されます。

※「F1－F4」を選択した場合

```
LCD Title F1－F4  410
_F1   F2   F3   F4
```

※「F5－F8」を選択した場合

```
LCD Title F5－F8  410
_F5   F6   F7   F8
```

4. または ＋ 、 － で文字を選択します

または でカーソルが移動します。

CLEAR を押すと、カーソル位置の文字が消去されます。

```
LCD Title F1－F4  410
 CAM  HDD  F3   F4
```

※使用できる文字は、以下のとおりです。

文字グループ	内　容
スペース	“ ”(スペース) ■
英字（大）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
英字（小）	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
数字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
記号	! " # $ % & ’ ( ) ＊ ＋ , − . ／ : ; ＜ ＝ ＞ ? [￥] ^ _ { | } → ← @
カタカナ	ヲ ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ー ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ン ゛ ゜ 。 「 」 、 ・

※ SHIFT ＋ で次の文字グループの先頭にジャンプします。

例えば「C」を選択中に SHIFT ＋ で「a」が表示されます。

5. ENTER または カメラ(セット) を押します

確認画面が表示されます。

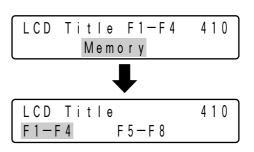
```
LCD Title F1－F4  410
     Set OK?
```

※ EXIT または モニター(ESC) を押すと、編集画面に戻ります。

6. ENTER または カメラ(セット) を押します

編集した内容が登録されます。

ディスプレイに数秒間メッセージが表示され、タイトルグループ選択画面に戻ります。

操作

ジョイスティック部のボタンに関する機能

カメラファンクションの実行

カメラに設定されている機能（カメラ機能）を番号で呼び出して操作できます。番号と機能の対応については、お使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **メニューから「Camera Function」を選択します（66ページ手順1～4）**

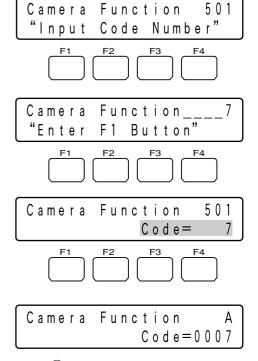
カメラファンクションの実行画面が表示されます。

2. **カメラ機能番号をテンキーで入力します**

入力した番号がディスプレイに表示されます。

3. **F1 を押します**

ディスプレイの2行目が点滅表示し、入力した番号に対応したカメラ機能が動作します。実行後は自動的に手順1の画面に戻ります。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押しただけで、指定した機能を実行できます（68ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

Ⓐ で機能7を実行した場合

システムファンクションの実行

システム機器に設定されている機能（システム機能）を番号で呼び出して操作できます。番号と機能の対応については、お使いになるシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

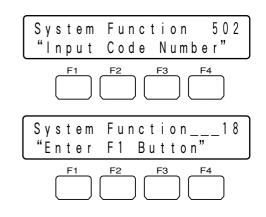
操作手順

1. **メニューから「System Function」を選択します（66ページ手順1～4）**

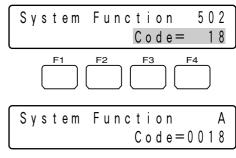
システムファンクションの実行画面が表示されます。

2. **システム機能番号をテンキーで入力します。**

ディスプレイに入力した番号が表示されます。

3. F1 を押します

ディスプレイの2行目が点滅表示し、入力した番号に対応したシステム機能が動作します。実行後は自動的に手順1の画面に戻ります。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押しただけで、指定した機能を実行できます（69ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

System Function A
Code=0018

Ⓐ で機能18を実行した場合

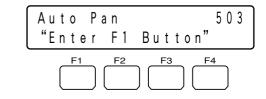
オートパンの実行

カメラのオートパンを実行します。機能の詳細は、お使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **メニューから「Auto Pan」を選択します（66ページ手順1～4）**

オートパンの実行画面が表示されます。

2. F1 を押します

オートパンが実行されます。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけでオートパンを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

Ⓐ で実行した場合

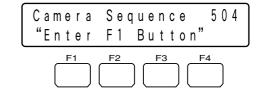
カメラシーケンスの実行

カメラシーケンスを実行します。機能の詳細は、お使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **メニューから「Camera Sequence」を選択します（66ページ手順1～4）**

カメラシーケンスの実行画面が表示されます。

2. F1 を押します

カメラシーケンスが実行されます。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけでカメラシーケンスを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

Ⓐ で実行した場合

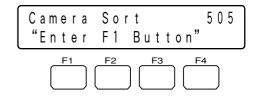
操作

カメラソートの実行

カメラソートを実行します。機能の詳細は、お使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **メニューから「Camera Sort」を選択します（66ページ手順1～4）**

カメラソートの実行画面が表示されます。

2. **F1 を押します**

カメラソートが実行されます。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけでカメラソートを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

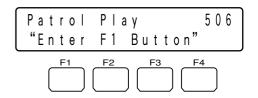
Ⓐ で実行した場合

カメラパトロールの実行

カメラパトロールを実行します。機能の詳細は、お使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **メニューから「Patrol Play」を選択します（66ページ手順1～4）**

カメラパトロールの実行画面が表示されます。

2. **F1 を押します**

カメラパトロールが実行されます。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけでカメラパトロールを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

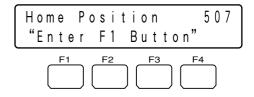
Ⓐ で実行した場合

ホームポジションの実行

カメラのホームポジションを実行します。機能の詳細は、お使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **メニューから「Home Position」を選択します（66ページ手順1～4）**

ホームポジションの実行画面が表示されます。

2. **F1 を押します**

ホームポジションが実行されます。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけでホームポジションを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

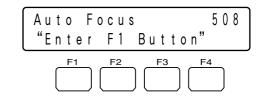
Ⓐ で実行した場合

オートフォーカスの実行

カメラのオートフォーカスを手動で実行します。機能の詳細は、お使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **メニューから「Auto Focus」を選択します（66ページ手順1～4）**

オートフォーカスの実行画面が表示されます。

2. **F1 を押します**

オートフォーカスが実行されます。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけでオートフォーカスを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

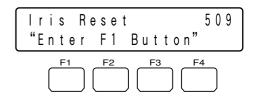
Ⓐ で実行した場合

アイリスリセットの実行

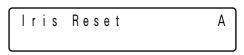
カメラのアイリスリセットを実行します。機能の詳細は、お使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **メニューから「Iris Reset」を選択します（66ページ手順1～4）**

アイリスリセットの実行画面が表示されます。

2. **F1 を押します**

アイリスリセットが実行されます。

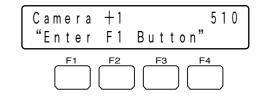
※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけでアイリスリセットを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

Ⓐ で実行した場合

映像を1つ大きい番号のカメラに切り換える

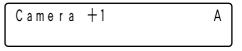
モニターに表示する映像を、1つ大きい番号のカメラに切り換えます。

操作手順

1. **メニューから「Camera +1」を選択します（66ページ手順1～4）**

カメラ切り換えの実行画面が表示されます。

2. **F1 を押します**

カメラ番号が1つ大きいカメラの映像に切り換わります。

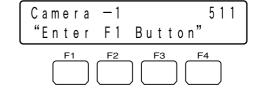
※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけで切り換えを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

Ⓐ で実行した場合

映像を1つ小さい番号のカメラに切り換える

モニターに表示する映像を、1つ小さい番号のカメラに切り換えます。

操作手順

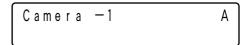
1. メニューから「Camera ー1」を選択します（66ページ手順1～4）

カメラ切り換えの実行画面が表示されます。

2. F1 を押します

カメラ番号が1つ小さいカメラの映像に切り換わります。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけで切り換えを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

Ⓐ で実行した場合

操作

A－Bリピート再生の実行（HD300シリーズのみ）

A－Bリピート再生を実行します。機能の詳細は、お使いになるレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

Ⓐ で実行した場合

1. メニューから「HD300 A-B Repeat」を選択します（66ページ手順1～4）

A－Bリピート再生の実行画面が表示されます。

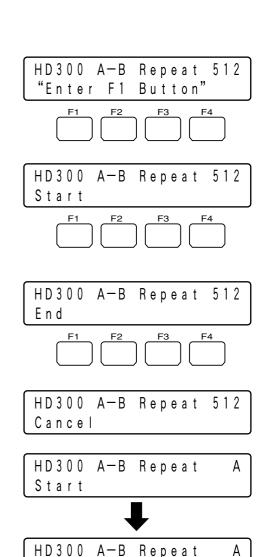
2. 再生中に、始点として設定したい地点で F1 を押します

再生開始位置（A点）が設定され、ディスプレイに数秒間「Start」と表示されます。

3. 終点として設定したい地点で F1 を押します

再生終了位置（B点）が設定され、リピート再生が開始します。ディスプレイに数秒間「End」と表示されます。

※再生を終了するときは再度 F1 を押してください。ディスプレイに数秒間「Cancel」と表示されます。

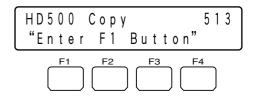
※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけでA－Bリピート再生を実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

レコードコピーの実行（HD500シリーズのみ）

再生一時停止中に、レコードを外部記憶装置にコピーすることができます。機能の詳細は、お使いになるレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

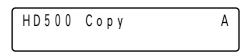
1. メニューから「HD500 Copy」を選択します（66ページ手順1〜4）

レコードコピーの実行画面が表示されます。

2. F1 を押します

レコードコピーが実行されます。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけでレコードコピーを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

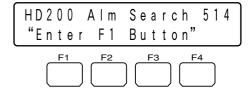
Ⓐ で実行した場合

操作

アラームサーチの実行（HD200／HD100シリーズのみ）

再生中に実行すると、再生位置を次のアラームレコードの先頭にジャンプすることができます。機能の詳細は、お使いになるレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. メニューから「HD200 Alm Search」を選択します（66ページ手順1〜4）

アラームサーチの実行画面が表示されます。

2. F1 を押します

アラームサーチが実行されます。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけでアラームサーチを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

HD200 Alm Search A

Ⓐ で実行した場合

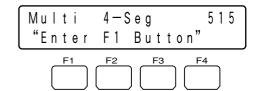
画面を4分割表示に切り換える

多画面分割機能を備えているシステム機器を選択しているときに、モニターの画面を4分割表示に切り換えることができます。機能の詳細は、お使いになるシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

操作手順

1. **メニューから「Multi 4-seg」を選択します（64ページ手順1～4）**

4分割表示切り換えの実行画面が表示されます。

2. **F1 を押します**

分割表示切り換えが実行されます。

※ファンクションボタンに登録しておくと、ファンクションボタンを押すだけで分割表示切り換えを実行できます（67ページ）。ファンクションボタンで機能を実行した場合、ディスプレイは右の表示になります。

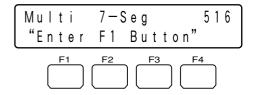
Ⓐ で実行した場合

操

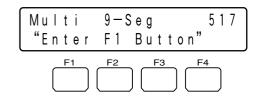
作

画面を7分割表示に切り換える

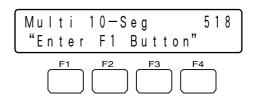
多画面分割機能を備えているシステム機器を選択しているときに、モニターの画面を7分割表示に切り換えることができます。機能の詳細は、お使いになるシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

※メニューから「Multi 7-seg」を選択して実行します。
操作方法、ファンクションボタンへの登録については、上記の「画面を4分割表示に切り換える」をご覧ください。

画面を9分割表示に切り換える

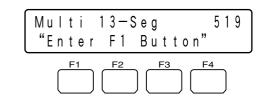
多画面分割機能を備えているシステム機器を選択しているときに、モニターの画面を9分割表示に切り換えることができます。機能の詳細は、お使いになるシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

※メニューから「Multi 9-seg」を選択して実行します。
操作方法、ファンクションボタンへの登録については、上記の「画面を4分割表示に切り換える」をご覧ください。

画面を10分割表示に切り換える

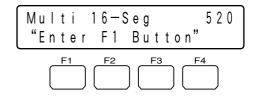
多画面分割機能を備えているシステム機器を選択しているときに、モニターの画面を10分割表示に切り換えることができます。機能の詳細は、お使いになるシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

※メニューから「Multi 10-seg」を選択して実行します。
　操作方法、ファンクションボタンへの登録については、「画面を4分割表示に切り換える」（108ページ）をご覧ください。

画面を13分割表示に切り換える

多画面分割機能を備えているシステム機器を選択しているときに、モニターの画面を13分割表示に切り換えることができます。機能の詳細は、お使いになるシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

※メニューから「Multi 13-seg」を選択して実行します。
　操作方法、ファンクションボタンへの登録については、「画面を4分割表示に切り換える」（108ページ）をご覧ください。

画面を16分割表示に切り換える

多画面分割機能を備えているシステム機器を選択しているときに、モニターの画面を16分割表示に切り換えることができます。機能の詳細は、お使いになるシステム機器の取扱説明書をご覧ください。

※メニューから「Multi 16-seg」を選択して実行します。
　操作方法、ファンクションボタンへの登録については、「画面を4分割表示に切り換える」（108ページ）をご覧ください。

セットアップのしかた

本機のセットアップのしかたについて説明します。

本機のセットアップ手順

セットアップは以下の手順で行ってください。

操作手順

1. **モード設定スイッチを設定します**

RS485通信の終端ON／OFFを設定します（111ページ）。

2. **コントローラー番号を設定します**

本機を複数台デイジーチェーン接続して使用するときに設定します（112ページ）。

3. **管理者モードで本機の設定をします**

システム機器との通信設定や、パスワードなどを設定します（113ページ～）。

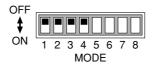
※Ethernetモードでお使いの場合は、IPアドレスなどの設定が必要です（120ページ）。

モード設定スイッチを設定する

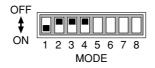
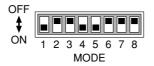
本体背面のモード設定スイッチを設定します。スイッチの設定は電源を切った状態で行ってください。
PS·Dataモード、ターミナルモードでお使いになる場合、終端の設定が必要です。

動作モードの設定

<PS・Dataモードでお使いになる場合>

1〜4番ビットを右図のように設定します。

<ターミナルモードでお使いになる場合>

1〜4番ビットを右図のように設定します。

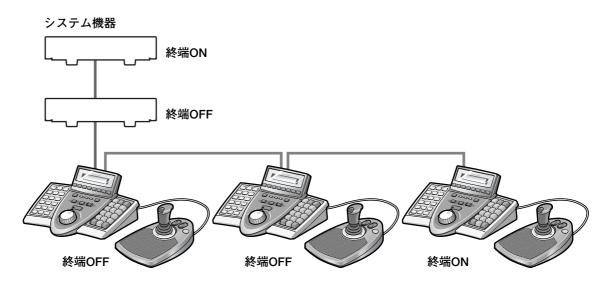
<Ethernetモードでお使いになる場合>

右図のように設定します。

終端の設定

PS·Dataモード、ターミナルモードでお使いになる場合、終端の設定が必要です。

<本機1台でシステム機器を操作する場合>

5番ビットをONに設定します。

<本機を複数台のコントローラーとデイジーチェーン接続して使用する場合>

本機を複数台のコントローラーとデイジーチェーン接続して使用する場合は、最も端となるコントローラーのみ5番ビットをONにします。

コントローラー番号を設定する

本体背面のコントローラー番号スイッチの設定は、お買い上げ時に「1」となっています。

<PS・Dataモード・ターミナルモードでお使いになる場合>

コントローラーを本機1台のみで接続する場合は、「1」のままお使いください。

コントローラー番号1

本機を複数台のコントローラーとデイジーチェーン接続して使用する場合は、コントローラー番号が他のコントローラーと重複しないように設定してください。

※コントローラー番号の設定可能範囲は「1」～「8」です。「0」と「9」は予備の番号のため、使用できません。

※PS・Dataモードの場合、システム中に必ず1台はコントローラー番号を「1」に設定してください。本機は1システム中に4台まで接続できます。

<Ethernetモードでお使いになる場合>

「1」のままお使いください。

管理者パスワードの変更

管理者パスワードは、管理者モードを利用する際に必要です。
※管理者パスワードの初期設定は「650」です。
※管理者用パスワードは必ず変更してください。また、変更したパスワードは、メモを取るなどして忘れないように注意してください。

管理者パスワードの変更方法について説明します。

操作手順

1. 1 + モニター(ESC) **を押しながら電源を入れます**

現在の管理者パスワードを入力する画面が表示されます。

※管理者パスワードの初期設定は「650」です。

```
Admin Password Setup
Admin Password _____
```

2. **現在設定されているの管理者パスワードをテンキーを使って入力します**

入力したパスワードは「＊」で表示されます。
CLEAR を押すと、入力した数字が削除されます。

```
Admin Password Setup
Old Password   *****
```

3. カメラ(セット) **を押します**

新しい管理者パスワードを入力する画面が表示されます。

※入力したパスワードが誤っている場合は、手順1の画面に戻ります。

```
Admin Password Setup
New Password   _____
```

4. **新しく設定したいパスワードをテンキーを使って入力します**

入力したパスワードは「＊」で表示されます。
パスワードは1～99999の間で設定できます。
CLEAR を押すと、入力した数字が削除されます。

```
Admin Password Setup
New Password   *****
```

5. カメラ(セット) **を押します**

再び新しいパスワードを入力する画面が表示されます。

```
Admin Password Setup
New Password   _____
```

6. **手順4で入力したパスワードを再度テンキーを使って入力します**

入力したパスワードは「＊」で表示されます。
CLEAR を押すと、入力した数字が削除されます。

```
Admin Password Setup
New Password   *****
```

7. ［カメラ（セット）］を押します

パスワードが設定され、終了メッセージが表示されます。

※入力したパスワードが誤っている場合は、手順1の画面に戻ります。

```
Admin Password Setup
       Memory
```

```
Admin Password Setup
        End
```

8. 電源を切ります

管理者が利用できる機能

本機に管理者としてログインすることで、管理者モードの機能が利用できます。ここでは、管理者モードで利用できる各種機能について説明します。

通信設定の変更

通信条件を変更する方法について以下に説明します。（画面の表示例はPS・Dataモードです）

操作手順

1. モード設定スイッチを設定します

PS・Dataモード、ターミナルモードのいずれかを設定します（111ページ）。

2. 6 + モニター(ESC) を押しながら電源を入れます

管理者パスワードを入力する画面が表示されます。

```
PS・Data Com. Setup
Admin Password _____
```

3. 管理者パスワードをテンキーを使って入力します

入力したパスワードは「*」で表示されます。
CLEAR を押すと、入力した数字が削除されます。

```
PS・Data Com. Setup
Admin Password *****
```

4. カメラ(セット) を押します

通信設定項目の選択画面が表示されます。

```
PS・Data Com. Setup
Baud Rate   9600
```

5. 設定したい項目を、 で選択します

※設定できる項目は以下のとおりです。

ディスプレイ表示	内　容
PS・Data Com. Setup Baud Rate 9600	システム機器との通信速度を設定します。詳しくは「通信速度の設定」（116ページ）をご覧ください。
Terminal Com. Setup Data Bit 8	データ長のビット数を設定します。 この設定はターミナルモードのときのみ表示・設定できます。
PS・Data Com. Setup Parity Bit None	パリティチェックのために付加するビット（パリティビット）の数を設定します。詳しくは「パリティビットの設定」（117ページ）をご覧ください。
PS・Data Com. Setup Stop Bit 1	非同期通信でデータ列の最後に付けられるビット数を選択します。詳しくは「ストップビットの設定」（117ページ）をご覧ください。

管理者の設定

ディスプレイ表示	内　容
PS･Data Com. Setup Wait Time Off	データを再送するまでの待ち時間を設定します。詳しくは「データ再送待ち時間の設定」（118ページ）をご覧ください。この設定はPS・Dataモードのときのみ表示・設定できます。
PS･Data Com. Setup Cnt G-Adr. A	設定の変更はしないでください。 この設定はPS・Dataモードのときのみ表示・設定できます。
PS･Data Com. Setup Sys G-Adr.	設定の変更はしないでください。 この設定はPS・Dataモードのときのみ表示・設定できます。

6. **設定を変更します**

設定を変更する操作は項目によって異なります。操作方法は「通信速度の設定」～「データ再送待ち時間の設定」をご覧ください。

7. **設定終了後、電源を切ります**

通信速度の設定

操作手順

1. **115ページの手順4で選択して、[カメラセット]を押します**

通信速度を変更できる状態になります。

```
PS･Data Com. Setup
Baud Rate 9600
```

2. **[ジョイスティック]または[+]、[−]で通信速度を選択します**

通信速度は4 800 bps、9 600 bps、19 200 bpsから選択できます。

※通信速度の初期設定は「9 600 bps」です。

```
PS･Data Com. Setup
Baud Rate 4800
```

3. **[モニター(ESC)]を押します**

選択した値が確定し、通信設定項目の選択画面に戻ります。

```
PS･Data Com. Setup
Baud Rate 4800
```

パリティビットの設定

操作手順

1. **115ページの手順4で選択して、 を押します**

パリティビットを変更できる状態になります。

```
PS・Data Com. Setup
Parity Bit None
```

2. **または ＋ 、 － でパリティビット数を選択します**

パリティビット数はNone（無し）、Odd（奇数）、Even（偶数）から選択できます。

※パリティビットの初期設定は「None」です。

```
PS・Data Com. Setup
Parity Bit Even
```

3. **を押します**

選択した値が確定し、通信設定項目の選択画面に戻ります。

```
PS・Data Com. Setup
Parity Bit Even
```

ストップビットの設定

操作手順

1. **115ページの手順4で選択して、 を押します**

ストップビットを変更できる状態になります。

```
PS・Data Com. Setup
Stop Bit 1
```

2. **または ＋ 、 － でストップビット数を選択します**

ストップビット数は1 bit、2 bitから選択できます。

※ストップビットの初期設定は「1 bit」です。

```
PS・Data Com. Setup
Stop Bit 2
```

3. **を押します**

選択した値が確定し、通信設定項目の選択画面に戻ります。

```
PS・Data Com. Setup
Stop Bit 2
```

データ再送待ち時間の設定 PS・Data

操作手順

1. 115ページの手順4で選択して、[カメラ(セット)] を押します

データ再送待ち時間を変更できる状態になります。

```
PS・Data Com. Setup
Wait Time   Off
```

2. [ジョグ] または [+]、[−] で待ち時間を選択します

データ再送待ち時間はOff（再送しない）、100 ms、200 ms、400 ms、1 000 msから選択できます。

※データ再送待ち時間の初期設定は「Off」です。

```
PS・Data Com. Setup
Wait Time   100
```

3. [モニター(ESC)] を押します

選択した値が確定し、通信設定項目の選択画面に戻ります。

```
PS・Data Com. Setup
Wait Time   100
```

コントローラーのグループアドレス設定 PS・Data

※初期設定から変更はしないでください。誤って変更した場合は、以下の手順で初期設定状態に戻してください。

操作手順

1. 115ページの手順4で選択して、[カメラ(セット)] を押します

コントローラーのグループアドレスを変更できる状態になります。

```
PS・Data Com. Setup
Cnt G-Adr. B
```

2. [ジョグ] または [+]、[−] でグループアドレスを「A」に選択します

グループアドレスはA～Zの間で選択できます。

※コントローラーのグループアドレスの初期設定は「A」です。

```
PS・Data Com. Setup
Cnt G-Adr. A
```

3. [モニター(ESC)] を押します

選択した値が確定し、通信設定項目の選択画面に戻ります。

```
PS・Data Com. Setup
Cnt G-Adr. A
```

システム機器のグループアドレス設定 PS・Data

※初期設定から変更しないでください。誤って変更した場合は、以下の手順で初期設定状態に戻してください。

操作手順

1. **115ページの手順4で選択して、 を押します**

システム機器のグループアドレスを変更できる状態になります。

```
PS・Data Com. Setup
Sys G-Adr. B
```

2. **または + 、 − でグループアドレスのアルファベットを「A」に選択します**

グループアドレスのアルファベットはA～Zの間で選択できます。

※システム機器のグループアドレスの初期設定は「A」です。

```
PS・Data Com. Setup
Sys G-Adr. A
```

3. **を押します**

数字を選択できる状態になります。

※ を押すと、前の画面に戻ります。

```
PS・Data Com. Setup
Sys G-Adr. A 05
```

4. **または + 、 − で指定したグループアドレスを設定するシステム機器のユニットアドレスを選択します**

システム機器のユニットアドレスは1～99の間で選択できます。

※システム機器のユニットアドレスの初期設定は「01」です。

```
PS・Data Com. Setup
Sys G-Adr. A 01
```

5. **を押します**

選択した値が確定すると、ディスプレイに「OK」と表示され、数字を選択する画面に戻ります。

※値が確定できなかった場合は、「NG」と表示されます。システム機器側のユニットアドレスを確認し、上記の手順を再度行ってください。

```
PS・Data Com. Setup
Sys G-Adr. A 01 OK
```

```
PS・Data Com. Setup
Sys G-Adr. A 01
```

6. **を押します**

アルファベットを選択する画面に戻ります。

```
PS・Data Com. Setup
Sys G-Adr. A
```

7. **を押します**

通信設定項目の選択画面に戻ります。

```
PS・Data Com. Setup
Sys G-Adr.
```

ネットワーク設定

動作モードの設定（111ページ）でEthernetモードに設定してからネットワーク設定を行ってください。
DG-ASM100シリーズをインストールしたPCと本機を10/100 Base-T端子を使って接続し、本機からDG-ASM100シリーズをコントロールする場合、ネットワーク設定の変更が必要です。以下の操作手順に従って、ネットワーク設定を変更してください。

操作手順

1. [モニター(ESC)] + [0] + [カメラ(セット)] を押しながら電源を入れます

管理者パスワードを入力する画面が表示されます。

```
IP Addr Setup Mode
Admin Password _____
```

2. 管理者パスワードをテンキーを使って入力します

入力したパスワードは「*」で表示されます。
[CLEAR] を押すと、入力した数字が削除されます。

```
IP Addr Setup Mode
Admin Password *****
```

3. [カメラ(セット)] を押します

設定項目の選択画面が表示されます。

4. 設定したい項目を、[ジョイスティック] で選択します

※設定できる項目は以下のとおりです。

ディスプレイ表示	内　容
IP Address 192.168.　0.210	コントローラーのIPアドレスを設定します。 初期設定：192.168.0.210
Subnet Mask 255.255.255.　0	コントローラーのサブネットマスクを設定します。 初期設定：255.255.255.0
Gateway 192.168.　0.　1	コントローラーのデフォルトゲートウェイを設定します。 初期設定：192.168.0.1
Keyboard ID 1	変更の必要はありません。 初期設定：1

ディスプレイ表示	内　容
Server IP Address 192.168. 0.200	接続相手のIPアドレスを設定します。 初期設定：192.168.0.200
Server ID 1	変更の必要はありません。 初期設定：1

5. 設定したい項目の画面で［カメラ（セット）］を押します

6. IP Address、Subnet Mask、Gateway、Server IP Addressを設定する場合、テンキーを使ってアドレス（nnn.nnn.nnn.nnn）を入力します。

IP Address
192.168. 0.210

点滅した個所を変更できます。
修正したい数字にカーソルを合わせ、テンキーで入力すると数字が変更されます。
カーソルは［ジョグ］で左右に移動します。
入力値を修正する場合は、［CLEAR］を押すとその桁の値がクリアされます。
nnnには0～255の数値を入力してください。

7. ［モニター（ESC）］を押します

変更した値が確定し、設定項目の選択画面に戻ります。（手順4）

8. 全体の設定が完了したら電源を切ります

オールリセット

オールリセットを実行すると、通信設定、ディスプレイ調整（コントラスト、輝度）などの設定が初期状態にリセットされます。

オールリセットで初期化される設定は、以下のとおりです。
・管理者パスワード
・通信設定
・［調整］による設定（ディスプレイ調整、操作音設定、アラーム音設定）
・ファンクションボタンに登録した機能
・コントローラーに関する機能メニュー
　「Time&Date Type（日付・時刻表示パターン）」
　「Auto Login（オートログイン）」
　「Operator Setup（オペレーター登録）」
　「Function Level（ファンクションレベル）」
　「Camera Level（カメラレベル）」
　「Cam Posi Map（カメラポジション登録）」
　「Cam-Unit Map（カメラ番号とユニットアドレスの関連付け登録）」
　「HDD-Unit Map（レコーダー番号とユニットアドレスの関連付け登録）」
　「LCD Title（ディスプレイ表示タイトル）」
・ネットワーク設定

オールリセットの操作手順を以下に説明します。

操作手順

1. [2] + [4] + [6] を押しながら電源を入れます

管理者パスワードを入力する画面が表示されます。

```
All Reset
Admin Password _____
```

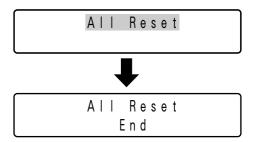
2. 管理者パスワードをテンキーを使って入力します

入力したパスワードは「＊」で表示されます。
［CLEAR］を押すと、入力した数字が削除されます。

```
All Reset
Admin Password *****
```

3. ［カメラ（セット）］を押します

オールリセットが実行されます。
実行メッセージが数秒間表示され、終了画面になります。

※入力したパスワードが誤っている場合は、手順1の画面に戻ります。

4. 電源を切ります

オペレーターのパスワードを確認する PS・Data

登録されているオペレーターのパスワードを確認できます。

操作手順

1. [4] + [モニター(ESC)] **を押しながら電源を入れます**

管理者パスワードを入力する画面が表示されます。

```
PSD Password Check
Admin Password _____
```

2. **管理者パスワードをテンキーを使って入力します**

入力したパスワードは「*」で表示されます。
[CLEAR] を押すと、入力した数字が削除されます。

```
PSD Password Check
Admin Password *****
```

3. [カメラ(セット)] **を押します**

オペレーター番号1のIDとパスワードが表示されます。

※入力したパスワードが誤っている場合は、手順1の画面に戻ります。

```
No.01 User ID    650
      Password   650
```

4. [ジョイスティック] **でオペレーターを選択して、確認します**

登録されているオペレーターのIDとパスワードが順に表示されます。

```
No.03 User ID    100
      Password   100
```

5. **電源を切ります**

設定情報を他のコントローラーにコピーする PS・Data

設定情報を他のDG-CU950/WV-CU650にコピーすることができます。複数台のコントローラーを設置したいときなどに便利です。
※WV-CU360Cにコピーすることはできません。
※ソフトウェアバージョン2.xxから1.xxに設定情報をコピーすることはできません。（ソフトウェアバージョンの確認方法は「電源の入れかた」（21ページ）をご覧ください。）誤ってコピーしようとした場合、右の画面が表示され、コピーが中止されます。

```
Data Base Rx Mode
Failed      Sum=0000
```

コピーできる設定情報は以下のとおりです。
- 管理者パスワード
- ファンクションボタンに登録した機能
- コントローラーに関する機能メニュー
  「Time&Date Type（日付・時刻表示パターン）」
  「Auto Login（オートログイン）」
  「Operator Setup（オペレーター登録）」
  「Function Level（ファンクションレベル）」
  「Camera Level（カメラレベル）」
  「Cam Posi Map（カメラポジション登録）」
  「Cam-Unit Map（カメラ番号とユニットアドレスの関連付け登録）」
  「HDD-Unit Map（レコーダー番号とユニットアドレスの関連付け登録）」
  「LCD Title（ディスプレイ表示タイトル）」

本機の設定情報を他のDG-CU950/WV-CU650にコピーする手順について説明します。

操作手順

1. 本機とコピー先のDG-CU950/WV-CU650を接続します（112ページ）

※ただし、システム機器は接続から外してください。
※接続は電源を切った状態で行ってください。

2. 本機のコントローラー番号を「1」、コピー先のコントローラー番号を「2」～「8」のいずれかに設定します（112ページ）

※コピー先のコントローラーが複数台ある場合、一度のコピー操作ですべてのコントローラーにコピーされます。

3. コピー先のDG-CU950/WV-CU650の電源を入れます（21ページ）

ログインする必要はありません。

4. 本機の電源を 2 ＋ を押しながら入れます

管理者パスワードを入力する画面が表示されます。

```
Data Base Copy Mode
Admin Password _____
```

5. 管理者パスワードをテンキーを使って入力します

入力したパスワードは「＊」で表示されます。
CLEAR を押すと、入力した数字が削除されます。

```
Data Base Copy Mode
Admin Password *****
```

6. を押します

本機に送信画面が表示され、コピー先のDG-CU950/WV-CU650に受信画面が表示されます。

本機（送信側）の表示

```
Data Base Tx Mode
“Enter SET Button”
```

コピー先の表示

```
Data Base Rx Mode
```

7. を押します

コピーが開始します。
ディスプレイにコピーの進行状況が表示され、コピーが完了すると、サム値（Sum）が表示されます。
本機とコピー先に表示されるサム値が一致していれば、コピーが正しく行われています。
一致しない場合は、接続などを確認してもう一度やり直してください。

本機（送信側）の表示

```
Data Base Tx Mode
█████████████ 60%
```

```
Data Base Tx Mode
Completed   Sum=1733
```

コピー先の表示

```
Data Base Rx Mode
█████████████ 60%
```

```
Data Base Rx Mode
Completed   Sum=1733
```

8. 本機とコピー先のDG-CU950/WV-CU650の電源を切ります

管理者の設定

工事説明

工事上のお願い

⚠警告、⚠注意に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機は屋内専用です。

以下の場所には設置しないでください

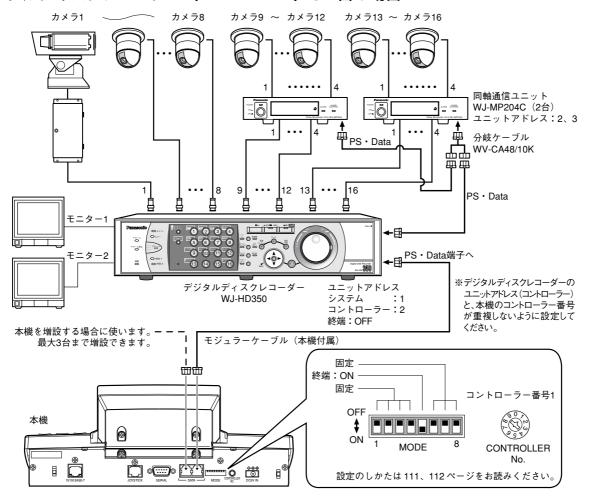
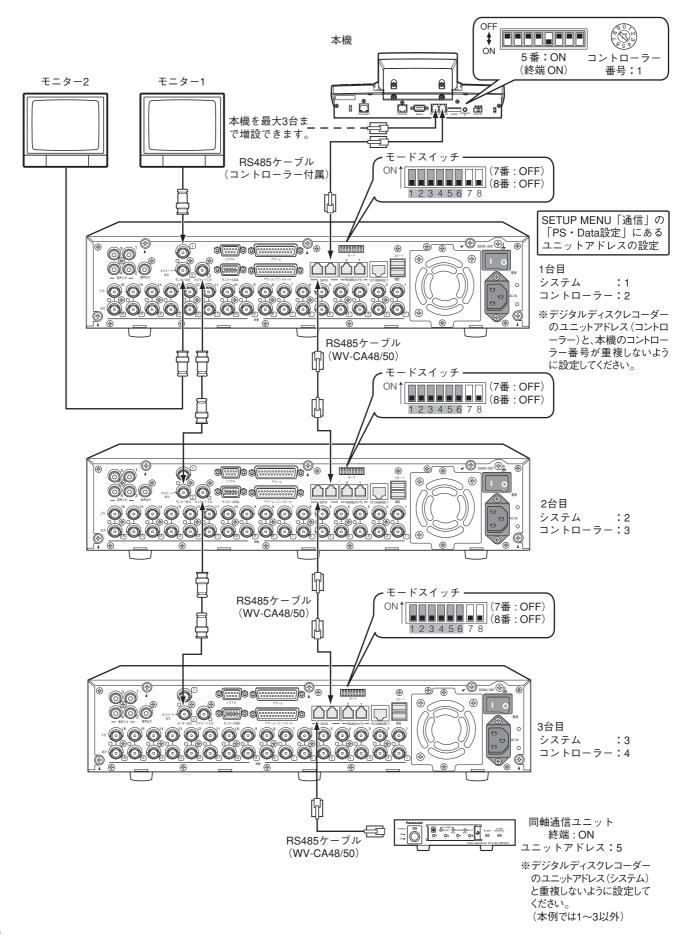
①直射日光の当たる場所
②振動の多い場所や衝撃が加わる場所
③スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
④結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
⑤厨房など蒸気や油分の多い場所
⑥傾斜のある場所
⑦水滴または水沫のかかる場所

ていねいにお取り扱いください。

落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。

システム接続例

PS・Dataモードでデジタルディスクレコーダー（WJ-HD350）および同軸通信ユニット（WJ-MP204C）を利用したシステム接続例を示します。
ターミナルモードおよびEthernetモードの接続方法は、システム機器により異なります。接続するシステム機器の取扱説明書をお読みください。

●デジタルディスクレコーダー（WJ-HD350）が1台の場合

●デジタルディスクレコーダー（WJ-HD350）が複数台（カスケード接続）の場合

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	●ACアダプターがACコンセントに確実に接続されていますか? 接続されているか、確認してください。	21
	●ACアダプターのDC出力プラグが、本機に確実に差し込まれていますか? 差し込まれているか、確認してください。	21
ディスプレイが暗い/ディスプレイに文字が表示されない	●ディスプレイの調整値は正しく設定されていますか？ 調整値を確認してください。	25
ログイン画面がディスプレイに表示されない	●後面のMODEスイッチは正しく設定されていますか？ 設定を確認して、電源を入れ直してください。	111
	●後面のコントローラー番号設定スイッチは正しく設定されていますか？ 設定を確認して、電源を入れ直してください。	112
	●ボタンが押されたままの状態で電源を入れていませんか？ ボタンが押されていないことを確認して、電源を入れ直してください。	21
ジョイスティックでカメラ操作できない	●ジョイスティック部と本体部分は、正しく接続されていますか？ 接続されているか確認してください。	20
	●ログインしているユーザーはそのボタンを押して操作できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	90、92

症　状	原因・対策	参照ページ
ジョイスティックから手を離してもカメラがパン・チルト・ズームする パン速度やチルト速度がジョイスティックを傾ける方向によって異なる	●ジョイスティック部と本体部分の組み合わせは正しいですか？ No.ラベルを確認してください。	20
ログインできない	●DATA端子は、システム機器と確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	127、128
	●後面のMODEスイッチで、終端抵抗は正しく設定されていますか？ 設定を確認して、電源を入れ直してください。	111
	●ユーザーIDは正しく入力できましたか？ 正しいIDを入力し直してください。	23
	●パスワードは正しく入力できましたか？ 間違えて入力すると、ログイン画面に戻りますので、もう一度ユーザーIDを入力するところからやり直してください。	23
ブザーが鳴らない	●ブザーの入／切は正しく設定されていますか？ 設定値を確認してください。	25
(ジョイスティック上部)で何も操作できない/ジョイスティック周辺のⒶ、Ⓑボタンで何も操作できない	●ジョイスティック部と本体部分は、正しく接続されていますか？ 接続されているか確認してください。	20
	●、Ⓐ、Ⓑボタンの機能割り当ては正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。	67、71
	●ログインしているユーザーはそのボタンを押して操作できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	90、92

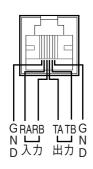
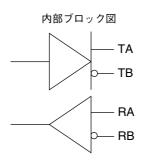
症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ディスプレイに「Controller No.1 No Exist Error」と表示される	●システム中にコントローラー番号「1」に設定されているコントローラーがありますか？ システム中に必ず1台は、コントローラー番号「1」に設定されている必要があります。本体背面のコントローラー番号スイッチを確認してください。	112
ディスプレイ下部のF1～F4ボタンで何も操作できない	●F1～F4ボタンの機能割り当ては正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。	67、71
	●ログインしているユーザーはそのボタンを押して操作できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	90、92
F1～F4ボタンを押すと、ディスプレイに表示された機能名と異なる機能が実行される	●F1～F4ボタンの機能割り当ては正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。	67、71
	●ディスプレイに表示する文字の編集は正しく行われていますか？ 設定を確認してください。	98
押しても何も実行できないボタンがある	●選択しているユニット、モニター、またはカメラで実行できるボタンですか？ 選択している機器により実行できる機能は異なります。システム機器側の取扱説明書をお読みください。	－
	●ログインしているユーザーはそのボタンを押して操作できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	90、92

ACアダプターは、ときどき点検してください。

症　　状	原　因　・　対　策	
機器を操作している最中に、突然操作できなくなる	●他のシステムコントローラーから操作しているユーザーはいませんか？ 他のシステムコントローラーから操作しているユーザーがいないか確認してください。	–
何も操作していないのに、アラーム抑止 LEDが点灯／消灯する		
ACアダプターの出力コードの被ふくが傷んでいる	●ACアダプターが傷んでいます。 そのままの状態で使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちにACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。	
ACアダプター・出力コードの一部が熱い		
使用中、ACアダプターの出力コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする		

仕様

●データ端子

●本　体

電源（DG-CU950） （WV-CU650）	DC 9 V　600 mA（付属のACアダプターを使用のこと） DC 9 V　300 mA（付属のACアダプターを使用のこと）
ACアダプター（付属）	AC 100 V　50／ 60 Hz　15 VA（品番：N0JAEG000001）
ネットワーク用入出力 （DG-CU950）	Ethernetポート／10/100Base-T、RJ-45　1系統
データ入出力	RS-485相当／6極6芯モジュラージャック　1系統（2ポート）
メンテナンス用入出力	シリアルポート／9pinD-SUB　1系統
コントローラー番号設定範囲	1～8（ロータリーSW）
使用温度範囲	−10 ℃～+50 ℃
選択可能ユニット	1～99（PS・Data）
選択可能モニター	1～99（PS・Data）
選択可能カメラ	1～999（PS・Data）
外形寸法	幅 290 mm　高さ 111 mm　奥行き 221 mm
質量	約1.3 kg（ACアダプターを除く）
仕上げ	ダークソリッドシルバー／OAブラック

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このシステムコントローラーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

129～132ページに従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、ACアダプターを電源コンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	システムコントローラー
品番	DG-CU950/WV-CU650
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-878-410**（バナハ ヨイワ）　受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは　http://panasonic.biz/pss/info

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	DG-CU950/WV-CU650
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社

〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

3TR002332HAA
NM0204-7108